

吹田市第3次環境基本計画案 新旧対照表

(資料3)



No.	変更前 (旧)	変更後 (新)	備考
1	<p>「フューチャー・デザイン」とは、世代を超える未来に関わる課題に対処し、持続可能な自然と社会を将来世代に引き継いでいくために、将来世代の視点を取り入れて、社会の有り様をデザインする手法です…</p>	<p>「フューチャー・デザイン」とは、世代を超える未来に関わる課題に対処し、持続可能な自然と社会を将来世代に引き継いでいくために、将来世代の視点を取り入れて、<u>これからの社会の有り様やとるべき施策についてデザインする枠組</u>です。…</p>	P5 (修正)
2	 <p>コラム フューチャー・デザイン (持続可能な未来のために)</p> <p>本市と「大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター：COiRE」は、これまで研究会やワークショップ等を協働で実施してきました。本市と「COiRE」が共同研究を行う「フューチャー・デザイン」の実践として、平成30年度から令和元年度にかけて開催したワークショップでは、「仮想将来世代」になりきった市民（一部行政職員含む）が、本計画（骨子案、素案）について、将来人としての視点から、意見交換及び議論等を行いました。</p> <p>仮想将来世代が重要視するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育 仕組み作り 伝わる啓発 <p>仮想将来世代の主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSでの啓発が必要だと思う 外国の方へのアプローチも大事じゃない？ 環境意識の向上するには教育が必要 近隣市町村との連携は必要だね。 <p>ワークショップの様子</p>	 <p>コラム フューチャー・デザイン ～持続可能な未来のために～</p> <p>本市と「大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター：COiRE」が共同研究を行う「フューチャー・デザイン」の実践として、平成30年度から令和元年度にかけてワークショップを開催しました。このワークショップでは、「仮想将来世代」になりきった市民（一部行政職員含む）が、本計画（骨子案、素案）について、将来人としての視点から、議論を行いました。</p> <p>仮想将来世代が住んでいる2050年の吹田市</p> <p>電気自動車普及、空飛ぶ車やドローンなどの空の交通網が普及している。再生可能エネルギー100%、エネルギー消費量70～75%超の削減を実現し、緑地化が進み、ごみゼロとなっている。環境教育の成果により、環境意識が向上している。そのため、関西での環境満足度No.1となっている。環境配慮を行う職業が増加し、子育て世代や企業などから注目され、人が集まる街になっている。</p> <p>2050年の仮想将来世代からみた2019年に行っておくべき重要な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境やSDGsに関する教育と啓発の充実 近隣自治体や大学などとの連携（情報共有を行う会議体の設置など） ごみゼロを実現するための研究開発やごみの有料化 太陽光発電設備などの廃棄方法を考えた再生可能エネルギーシステムの構築 空地・空き家の有効活用（交流の場の提供） <p>2050年の仮想将来世代からのアドバイス・メッセージ</p> <p>ワークショップでは、仮想将来世代が様々な議論から得たものを、「吹田市第3次環境基本計画」に対するアドバイスやメッセージとして、手紙にしたため、2019年の私たちにメッセージを送りました。その中で、仮想将来世代が住む吹田市では、再生可能エネルギー100%が当たり前の社会で、本計画の素案作成時点でのエネルギー分野の目標になっていた「限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換」が、化石燃料前提の考えと受け取られるため、太陽光発電などの再生可能エネルギーを前提とした「グリーンエネルギー社会への転換」に変更してはどうかというもや、2050年では環境意識の向上が更に図られているので、環境教育や啓発は、2019年から行っておくべきなど、将来人の視点でのアドバイスやメッセージがありました。ワークショップでの議論では、環境意識の向上に対する対策、外国人が現在よりも増加することによる国際化やSNSなどの普及による情報化に対応した啓発、ごみ減量への別の細分化などの具体策についての意見が多くありました。本計画と仮想将来世代の意見について、方向性は同じものでしたので、仮想将来世代からの意見は、本計画の運用面で参考になるものが多いです。そこで、本計画へ反映したものは、以下の表に記載したものとします。参加者が仮想将来世代になりきったことで、将来を自分事として考え、現世代と将来世代の双方の利益について、俯瞰的な視点を持つことができるようになったと考えられます。その結果、新たな仕組みづくりやそれに関わる意識改革の必要性などを重要視し、現状にとらわれない特徴的なアイデアが多く出るようになりました。このように、フューチャー・デザインは長期的に考えるべき課題について検討する枠組として、有効的であると考えられます。</p> <p>仮想将来世代の意見の計画への反映</p> <p>エネルギー分野の目標を「環境に配慮したエネルギーを活用する低炭素社会への転換」へ変更 国際化や情報化社会に対応した視点を重点戦略「はぐくむ」の「目的」に記載</p>	P7 (修正)

No.	変更前 (旧)	変更後 (新)	備考																																																												
3	<p>吹田市第3次環境基本計画 指標一覧 (目標年 令和10年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>達成指標 (※1)</th> <th>活動指標 (※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はぐくむ 環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みをはぐくむ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域の美化や緑化、環境イベントなどのボランティア活動に参加する市民の割合: 21% 行政、団体、その他企業等と連携した環境活動を実施している事業者の割合: 40% </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 環境啓発イベント参加者数 すいた環境サポーター養成講座修了者数 (累計) アジェンダ2.1すいたの事業者会員数 地域材使用量 (累計) </td> </tr> <tr> <td>まもる 良好な環境をまもる</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 市域の年間エネルギー消費量: 13.1 PJ(ペタジュール) 市民1人当たりの1日のごみ排出量: 760 g 生物多様性の認知度(重要性): 50% </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 市域の太陽光発電設備容量 (累計) 食品ロス削減等のごみ削減啓発活動数 (累計) 生物多様性保全イベント参加者数 </td> </tr> <tr> <td>そなえる 気候変動による影響にそなえる</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 災害に備えている市民の割合: 75% 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)の満足度の割合: 30% </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 連合自治会単位での自主防災組織の結成率 雨水排水施設の整備率 透水性舗装面積累計 </td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>達成指標 (※1)</th> <th>活動指標 (※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エネルギー 限りあるエネルギーを大切に使う 低炭素社会への転換</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 年間エネルギー消費量 市域: 13.1 PJ(ペタジュール) (☆) 家庭部門・市民1人当たり: 8.2 GJ(ギガジュール) 業務部門・従業員1人当たり: 25.6 GJ(ギガジュール) 市域の年間温室効果ガス排出量: 1,092千t-CO₂ 市民1人当たりの年間温室効果ガス排出量: 2.89t-CO₂ 吹田市役所の事務事業に伴う年間温室効果ガス排出量: 24千t-CO₂ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 市域の太陽光発電システム導入件数及び設備容量(累計)【表】 公共施設の再生可能エネルギー導入件数 </td> </tr> <tr> <td>資源循環 資源を大切に 社会システムの形成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 市民1人当たりの1日のごみ排出量: 760 g (☆) リサイクル率: 25.6% ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組の満足度: 40% ごみの年間焼却処理量: 84,390 t ごみの年間排出量(家庭系ごみ): 76,995 t ごみの年間排出量(事業系ごみ): 27,646 t マイバッグ持参率: 80% </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減等のごみ削減啓発活動数 (累計) (☆) </td> </tr> <tr> <td>生活環境 健康で快適な暮らしを支える 環境の保全</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 公害に関する苦情を解決した割合: 80% 「環境美化推進団体」の団体数: 40 団体 環境目標値達成率: 100% (二酸化窒素、一般環境騒音、河川IBD) 快適な生活環境の満足度: 40% 熱帯夜日数: 29 日以下 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)の満足度の割合: 30% (☆) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 下水処理水の高処理普及率 環境美化推進重点地区数 雨水浸透箇所数累計 (☆) 透水性舗装面積累計 (☆) </td> </tr> <tr> <td>みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 吹田市域の緑被率: 30% みどりの協定に基づく取組などを行う団体数: 60 団体 みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合: 67% 生物多様性の認知度(重要性): 50% (☆) 緑あふれる未来サポーター制度(公園)の登録団体数: 120 団体 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 生物多様性保全イベント参加者数 (☆) 市域面積に対する緑地面積の割合 市民1人当たりに対する都市公園面積 公園などの面積 希少種の保全 </td> </tr> <tr> <td>都市環境 快適な都市環境の創造</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 住み続けようと思っている市民の割合: 70% まちなみが美しいと感じる市民の割合: 70% 鉄道・バスなど公共交通網の満足度: 60% コミュニティバス1便当たりの乗車人数: ▲ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー重点整備地区内の整備延長 自転車通行空間の整備延長 まちづくりに関するルール策定地区数 景観に関するルール指定地区数 </td> </tr> </tbody> </table>	目標	達成指標 (※1)	活動指標 (※2)	はぐくむ 環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みをはぐくむ	<ul style="list-style-type: none"> 地域の美化や緑化、環境イベントなどのボランティア活動に参加する市民の割合: 21% 行政、団体、その他企業等と連携した環境活動を実施している事業者の割合: 40% 	<ul style="list-style-type: none"> 環境啓発イベント参加者数 すいた環境サポーター養成講座修了者数 (累計) アジェンダ2.1すいたの事業者会員数 地域材使用量 (累計) 	まもる 良好な環境をまもる	<ul style="list-style-type: none"> 市域の年間エネルギー消費量: 13.1 PJ(ペタジュール) 市民1人当たりの1日のごみ排出量: 760 g 生物多様性の認知度(重要性): 50% 	<ul style="list-style-type: none"> 市域の太陽光発電設備容量 (累計) 食品ロス削減等のごみ削減啓発活動数 (累計) 生物多様性保全イベント参加者数 	そなえる 気候変動による影響にそなえる	<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えている市民の割合: 75% 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)の満足度の割合: 30% 	<ul style="list-style-type: none"> 連合自治会単位での自主防災組織の結成率 雨水排水施設の整備率 透水性舗装面積累計 	目標	達成指標 (※1)	活動指標 (※2)	エネルギー 限りあるエネルギーを大切に使う 低炭素社会への転換	<ul style="list-style-type: none"> 年間エネルギー消費量 市域: 13.1 PJ(ペタジュール) (☆) 家庭部門・市民1人当たり: 8.2 GJ(ギガジュール) 業務部門・従業員1人当たり: 25.6 GJ(ギガジュール) 市域の年間温室効果ガス排出量: 1,092千t-CO₂ 市民1人当たりの年間温室効果ガス排出量: 2.89t-CO₂ 吹田市役所の事務事業に伴う年間温室効果ガス排出量: 24千t-CO₂ 	<ul style="list-style-type: none"> 市域の太陽光発電システム導入件数及び設備容量(累計)【表】 公共施設の再生可能エネルギー導入件数 	資源循環 資源を大切に 社会システムの形成	<ul style="list-style-type: none"> 市民1人当たりの1日のごみ排出量: 760 g (☆) リサイクル率: 25.6% ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組の満足度: 40% ごみの年間焼却処理量: 84,390 t ごみの年間排出量(家庭系ごみ): 76,995 t ごみの年間排出量(事業系ごみ): 27,646 t マイバッグ持参率: 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減等のごみ削減啓発活動数 (累計) (☆) 	生活環境 健康で快適な暮らしを支える 環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 公害に関する苦情を解決した割合: 80% 「環境美化推進団体」の団体数: 40 団体 環境目標値達成率: 100% (二酸化窒素、一般環境騒音、河川IBD) 快適な生活環境の満足度: 40% 熱帯夜日数: 29 日以下 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)の満足度の割合: 30% (☆) 	<ul style="list-style-type: none"> 下水処理水の高処理普及率 環境美化推進重点地区数 雨水浸透箇所数累計 (☆) 透水性舗装面積累計 (☆) 	みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> 吹田市域の緑被率: 30% みどりの協定に基づく取組などを行う団体数: 60 団体 みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合: 67% 生物多様性の認知度(重要性): 50% (☆) 緑あふれる未来サポーター制度(公園)の登録団体数: 120 団体 	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性保全イベント参加者数 (☆) 市域面積に対する緑地面積の割合 市民1人当たりに対する都市公園面積 公園などの面積 希少種の保全 	都市環境 快適な都市環境の創造	<ul style="list-style-type: none"> 住み続けようと思っている市民の割合: 70% まちなみが美しいと感じる市民の割合: 70% 鉄道・バスなど公共交通網の満足度: 60% コミュニティバス1便当たりの乗車人数: ▲ 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー重点整備地区内の整備延長 自転車通行空間の整備延長 まちづくりに関するルール策定地区数 景観に関するルール指定地区数 	<p>吹田市第3次環境基本計画 指標一覧 (目標年 令和10年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>達成指標 (※1)</th> <th>活動指標 (※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はぐくむ 環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みをはぐくむ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域の美化や緑化、環境イベントなどのボランティア活動に参加する市民の割合: 21% 行政、団体、その他企業などと連携した環境活動を実施している事業者の割合: 40% </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> エコスクール活動の評価(教室での取組)が21点以上の学校数 環境啓発イベント参加者数 すいた環境サポーター養成講座修了者数 (累計) アジェンダ2.1すいたの事業者会員数 地域材使用量 (累計) </td> </tr> <tr> <td>まもる 良好な環境をまもる</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 市域の年間エネルギー消費量: 13.1 PJ(ペタジュール) 市民1人当たりの1日のごみ排出量(1日): 760 g 生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合: 50% </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 市域の太陽光発電設備容量 (累計) 食品ロス削減などのごみ削減啓発活動数 (累計) 生物多様性保全イベント参加者数 </td> </tr> <tr> <td>そなえる 気候変動による影響にそなえる</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 災害に備えている市民の割合: 75% 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)に満足している市民の割合: 30% </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 連合自治会単位での自主防災組織の結成率 雨水排水施設の整備率 透水性舗装面積累計 </td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>達成指標 (※1)</th> <th>活動指標 (※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エネルギー 環境に配慮したエネルギーを活用する 低炭素社会への転換</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 年間エネルギー消費量 市域: 13.1 PJ(ペタジュール) (☆) 家庭部門・市民1人当たり: 8.2 GJ(ギガジュール) 業務部門・従業員1人当たり: 25.6 GJ(ギガジュール) 市域の年間温室効果ガス排出量: 1,092千t-CO₂ 市民1人当たりの年間温室効果ガス排出量: 2.89t-CO₂ 吹田市役所の事務事業に伴う年間温室効果ガス排出量: 24千t-CO₂ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設の再生可能エネルギー導入件数 市域の太陽光発電システム導入件数及び設備容量(累計)【表】(☆) </td> </tr> <tr> <td>資源循環 資源を大切に 社会システムの形成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 市民1人当たりの1日のごみ排出量(1日): 760 g (☆) リサイクル率: 25.6% ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組に満足している市民の割合: 40% ごみの年間焼却処理量: 84,390 t ごみの年間排出量(家庭系ごみ): 76,995 t ごみの年間排出量(事業系ごみ): 27,646 t マイバッグ持参率: 80% </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減等のごみ削減啓発活動数 (累計) (☆) </td> </tr> <tr> <td>生活環境 健康で快適な暮らしを支える 環境の保全</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 公害に関する苦情を解決した割合: 80% 「環境美化推進団体」の団体数: 40 団体 環境目標値達成率: 100% (二酸化窒素、一般環境騒音、河川IBD) 快適な生活環境の確保に満足している市民の割合: 40% 熱帯夜日数(5年移動平均値): 29 日以下 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)に満足している市民の割合: 30% (☆) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 下水処理水の高処理普及率 環境美化推進重点地区数 雨水浸透箇所数累計 (☆) 透水性舗装面積累計 (☆) </td> </tr> <tr> <td>みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 吹田市域の緑被率: 30% 「みどりの協定」に基づく取組などを行う団体数: 60 団体 みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合: 67% 生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合: 50% (☆) 緑あふれる未来サポーター制度(公園)の登録団体数: 120 団体 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 生物多様性保全イベント参加者数 (☆) 市域面積に対する緑地面積の割合 市民1人当たりに対する都市公園面積 公園などの面積 希少種の保全 </td> </tr> <tr> <td>都市環境 快適な都市環境の創造</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 今住んでいるところが気に入っている、住み続けようと思っている市民の割合: 70% まちなみが美しいと感じる市民の割合: 70% 鉄道・バスなど公共交通網の便利さに満足している市民の割合: 60% コミュニティバス1便当たりの乗車人数: ▲ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー重点整備地区内の主要な生活関連道路など整備延長 自転車通行空間の整備延長 まちづくりのルール(地区整備計画)の策定地区数【面積】 景観に関するルール(景観重点地区)の指定地区数【面積】 </td> </tr> </tbody> </table>	目標	達成指標 (※1)	活動指標 (※2)	はぐくむ 環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みをはぐくむ	<ul style="list-style-type: none"> 地域の美化や緑化、環境イベントなどのボランティア活動に参加する市民の割合: 21% 行政、団体、その他企業などと連携した環境活動を実施している事業者の割合: 40% 	<ul style="list-style-type: none"> エコスクール活動の評価(教室での取組)が21点以上の学校数 環境啓発イベント参加者数 すいた環境サポーター養成講座修了者数 (累計) アジェンダ2.1すいたの事業者会員数 地域材使用量 (累計) 	まもる 良好な環境をまもる	<ul style="list-style-type: none"> 市域の年間エネルギー消費量: 13.1 PJ(ペタジュール) 市民1人当たりの1日のごみ排出量(1日): 760 g 生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合: 50% 	<ul style="list-style-type: none"> 市域の太陽光発電設備容量 (累計) 食品ロス削減などのごみ削減啓発活動数 (累計) 生物多様性保全イベント参加者数 	そなえる 気候変動による影響にそなえる	<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えている市民の割合: 75% 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)に満足している市民の割合: 30% 	<ul style="list-style-type: none"> 連合自治会単位での自主防災組織の結成率 雨水排水施設の整備率 透水性舗装面積累計 	目標	達成指標 (※1)	活動指標 (※2)	エネルギー 環境に配慮したエネルギーを活用する 低炭素社会への転換	<ul style="list-style-type: none"> 年間エネルギー消費量 市域: 13.1 PJ(ペタジュール) (☆) 家庭部門・市民1人当たり: 8.2 GJ(ギガジュール) 業務部門・従業員1人当たり: 25.6 GJ(ギガジュール) 市域の年間温室効果ガス排出量: 1,092千t-CO₂ 市民1人当たりの年間温室効果ガス排出量: 2.89t-CO₂ 吹田市役所の事務事業に伴う年間温室効果ガス排出量: 24千t-CO₂ 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の再生可能エネルギー導入件数 市域の太陽光発電システム導入件数及び設備容量(累計)【表】(☆) 	資源循環 資源を大切に 社会システムの形成	<ul style="list-style-type: none"> 市民1人当たりの1日のごみ排出量(1日): 760 g (☆) リサイクル率: 25.6% ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組に満足している市民の割合: 40% ごみの年間焼却処理量: 84,390 t ごみの年間排出量(家庭系ごみ): 76,995 t ごみの年間排出量(事業系ごみ): 27,646 t マイバッグ持参率: 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減等のごみ削減啓発活動数 (累計) (☆) 	生活環境 健康で快適な暮らしを支える 環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 公害に関する苦情を解決した割合: 80% 「環境美化推進団体」の団体数: 40 団体 環境目標値達成率: 100% (二酸化窒素、一般環境騒音、河川IBD) 快適な生活環境の確保に満足している市民の割合: 40% 熱帯夜日数(5年移動平均値): 29 日以下 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)に満足している市民の割合: 30% (☆) 	<ul style="list-style-type: none"> 下水処理水の高処理普及率 環境美化推進重点地区数 雨水浸透箇所数累計 (☆) 透水性舗装面積累計 (☆) 	みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> 吹田市域の緑被率: 30% 「みどりの協定」に基づく取組などを行う団体数: 60 団体 みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合: 67% 生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合: 50% (☆) 緑あふれる未来サポーター制度(公園)の登録団体数: 120 団体 	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性保全イベント参加者数 (☆) 市域面積に対する緑地面積の割合 市民1人当たりに対する都市公園面積 公園などの面積 希少種の保全 	都市環境 快適な都市環境の創造	<ul style="list-style-type: none"> 今住んでいるところが気に入っている、住み続けようと思っている市民の割合: 70% まちなみが美しいと感じる市民の割合: 70% 鉄道・バスなど公共交通網の便利さに満足している市民の割合: 60% コミュニティバス1便当たりの乗車人数: ▲ 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー重点整備地区内の主要な生活関連道路など整備延長 自転車通行空間の整備延長 まちづくりのルール(地区整備計画)の策定地区数【面積】 景観に関するルール(景観重点地区)の指定地区数【面積】 	<p>P10 (変更)</p>
目標	達成指標 (※1)	活動指標 (※2)																																																													
はぐくむ 環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みをはぐくむ	<ul style="list-style-type: none"> 地域の美化や緑化、環境イベントなどのボランティア活動に参加する市民の割合: 21% 行政、団体、その他企業等と連携した環境活動を実施している事業者の割合: 40% 	<ul style="list-style-type: none"> 環境啓発イベント参加者数 すいた環境サポーター養成講座修了者数 (累計) アジェンダ2.1すいたの事業者会員数 地域材使用量 (累計) 																																																													
まもる 良好な環境をまもる	<ul style="list-style-type: none"> 市域の年間エネルギー消費量: 13.1 PJ(ペタジュール) 市民1人当たりの1日のごみ排出量: 760 g 生物多様性の認知度(重要性): 50% 	<ul style="list-style-type: none"> 市域の太陽光発電設備容量 (累計) 食品ロス削減等のごみ削減啓発活動数 (累計) 生物多様性保全イベント参加者数 																																																													
そなえる 気候変動による影響にそなえる	<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えている市民の割合: 75% 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)の満足度の割合: 30% 	<ul style="list-style-type: none"> 連合自治会単位での自主防災組織の結成率 雨水排水施設の整備率 透水性舗装面積累計 																																																													
目標	達成指標 (※1)	活動指標 (※2)																																																													
エネルギー 限りあるエネルギーを大切に使う 低炭素社会への転換	<ul style="list-style-type: none"> 年間エネルギー消費量 市域: 13.1 PJ(ペタジュール) (☆) 家庭部門・市民1人当たり: 8.2 GJ(ギガジュール) 業務部門・従業員1人当たり: 25.6 GJ(ギガジュール) 市域の年間温室効果ガス排出量: 1,092千t-CO₂ 市民1人当たりの年間温室効果ガス排出量: 2.89t-CO₂ 吹田市役所の事務事業に伴う年間温室効果ガス排出量: 24千t-CO₂ 	<ul style="list-style-type: none"> 市域の太陽光発電システム導入件数及び設備容量(累計)【表】 公共施設の再生可能エネルギー導入件数 																																																													
資源循環 資源を大切に 社会システムの形成	<ul style="list-style-type: none"> 市民1人当たりの1日のごみ排出量: 760 g (☆) リサイクル率: 25.6% ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組の満足度: 40% ごみの年間焼却処理量: 84,390 t ごみの年間排出量(家庭系ごみ): 76,995 t ごみの年間排出量(事業系ごみ): 27,646 t マイバッグ持参率: 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減等のごみ削減啓発活動数 (累計) (☆) 																																																													
生活環境 健康で快適な暮らしを支える 環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 公害に関する苦情を解決した割合: 80% 「環境美化推進団体」の団体数: 40 団体 環境目標値達成率: 100% (二酸化窒素、一般環境騒音、河川IBD) 快適な生活環境の満足度: 40% 熱帯夜日数: 29 日以下 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)の満足度の割合: 30% (☆) 	<ul style="list-style-type: none"> 下水処理水の高処理普及率 環境美化推進重点地区数 雨水浸透箇所数累計 (☆) 透水性舗装面積累計 (☆) 																																																													
みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> 吹田市域の緑被率: 30% みどりの協定に基づく取組などを行う団体数: 60 団体 みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合: 67% 生物多様性の認知度(重要性): 50% (☆) 緑あふれる未来サポーター制度(公園)の登録団体数: 120 団体 	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性保全イベント参加者数 (☆) 市域面積に対する緑地面積の割合 市民1人当たりに対する都市公園面積 公園などの面積 希少種の保全 																																																													
都市環境 快適な都市環境の創造	<ul style="list-style-type: none"> 住み続けようと思っている市民の割合: 70% まちなみが美しいと感じる市民の割合: 70% 鉄道・バスなど公共交通網の満足度: 60% コミュニティバス1便当たりの乗車人数: ▲ 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー重点整備地区内の整備延長 自転車通行空間の整備延長 まちづくりに関するルール策定地区数 景観に関するルール指定地区数 																																																													
目標	達成指標 (※1)	活動指標 (※2)																																																													
はぐくむ 環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みをはぐくむ	<ul style="list-style-type: none"> 地域の美化や緑化、環境イベントなどのボランティア活動に参加する市民の割合: 21% 行政、団体、その他企業などと連携した環境活動を実施している事業者の割合: 40% 	<ul style="list-style-type: none"> エコスクール活動の評価(教室での取組)が21点以上の学校数 環境啓発イベント参加者数 すいた環境サポーター養成講座修了者数 (累計) アジェンダ2.1すいたの事業者会員数 地域材使用量 (累計) 																																																													
まもる 良好な環境をまもる	<ul style="list-style-type: none"> 市域の年間エネルギー消費量: 13.1 PJ(ペタジュール) 市民1人当たりの1日のごみ排出量(1日): 760 g 生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合: 50% 	<ul style="list-style-type: none"> 市域の太陽光発電設備容量 (累計) 食品ロス削減などのごみ削減啓発活動数 (累計) 生物多様性保全イベント参加者数 																																																													
そなえる 気候変動による影響にそなえる	<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えている市民の割合: 75% 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)に満足している市民の割合: 30% 	<ul style="list-style-type: none"> 連合自治会単位での自主防災組織の結成率 雨水排水施設の整備率 透水性舗装面積累計 																																																													
目標	達成指標 (※1)	活動指標 (※2)																																																													
エネルギー 環境に配慮したエネルギーを活用する 低炭素社会への転換	<ul style="list-style-type: none"> 年間エネルギー消費量 市域: 13.1 PJ(ペタジュール) (☆) 家庭部門・市民1人当たり: 8.2 GJ(ギガジュール) 業務部門・従業員1人当たり: 25.6 GJ(ギガジュール) 市域の年間温室効果ガス排出量: 1,092千t-CO₂ 市民1人当たりの年間温室効果ガス排出量: 2.89t-CO₂ 吹田市役所の事務事業に伴う年間温室効果ガス排出量: 24千t-CO₂ 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の再生可能エネルギー導入件数 市域の太陽光発電システム導入件数及び設備容量(累計)【表】(☆) 																																																													
資源循環 資源を大切に 社会システムの形成	<ul style="list-style-type: none"> 市民1人当たりの1日のごみ排出量(1日): 760 g (☆) リサイクル率: 25.6% ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組に満足している市民の割合: 40% ごみの年間焼却処理量: 84,390 t ごみの年間排出量(家庭系ごみ): 76,995 t ごみの年間排出量(事業系ごみ): 27,646 t マイバッグ持参率: 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減等のごみ削減啓発活動数 (累計) (☆) 																																																													
生活環境 健康で快適な暮らしを支える 環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 公害に関する苦情を解決した割合: 80% 「環境美化推進団体」の団体数: 40 団体 環境目標値達成率: 100% (二酸化窒素、一般環境騒音、河川IBD) 快適な生活環境の確保に満足している市民の割合: 40% 熱帯夜日数(5年移動平均値): 29 日以下 居住地周辺の夏場の暑さ(涼しさ)に満足している市民の割合: 30% (☆) 	<ul style="list-style-type: none"> 下水処理水の高処理普及率 環境美化推進重点地区数 雨水浸透箇所数累計 (☆) 透水性舗装面積累計 (☆) 																																																													
みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> 吹田市域の緑被率: 30% 「みどりの協定」に基づく取組などを行う団体数: 60 団体 みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合: 67% 生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合: 50% (☆) 緑あふれる未来サポーター制度(公園)の登録団体数: 120 団体 	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性保全イベント参加者数 (☆) 市域面積に対する緑地面積の割合 市民1人当たりに対する都市公園面積 公園などの面積 希少種の保全 																																																													
都市環境 快適な都市環境の創造	<ul style="list-style-type: none"> 今住んでいるところが気に入っている、住み続けようと思っている市民の割合: 70% まちなみが美しいと感じる市民の割合: 70% 鉄道・バスなど公共交通網の便利さに満足している市民の割合: 60% コミュニティバス1便当たりの乗車人数: ▲ 	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー重点整備地区内の主要な生活関連道路など整備延長 自転車通行空間の整備延長 まちづくりのルール(地区整備計画)の策定地区数【面積】 景観に関するルール(景観重点地区)の指定地区数【面積】 																																																													
	<p>※1 目標達成状況を示す指標 ※2 達成指標の実現に向けた具体的な行動の指標 ※ ○は、代表指標(各分野を代表する達成指標) ※ ☆は、重点戦略と重複する指標(各戦略の目標が分野横断的なものであるため、分野別目標の指標と重複するものがあります。)</p>	<p>※1 目標達成状況を示す指標 ※2 達成指標の実現に向けた具体的な行動の指標 ※ ○は、代表指標(各分野を代表する達成指標) ※ ☆は、重点戦略と重複する指標(各戦略の目標が分野横断的なものであるため、分野別目標の指標と重複するものがあります。)</p>																																																													

No.	変更前 (旧)	変更後 (新)	備考																
4	<p>吹田市第3次環境基本計画 施策体系図</p> <p>基本方針 市民、事業者、行政の協働で、持続可能な社会づくりを進める エネルギーや資源を大切に使い、循環する社会を目指す 安全で健康かつ快適な生活を営むことのできる良好な環境を確保する</p> <p>望ましい環境像 みどり与水 光と風 楽しく 共生し未来へつなげる 環境先進都市すいた</p> <p>重点戦略 総合的かつ分野横断的視点により、重点的に取り組む目標 人・仕組みをはくむことで、効果的に本市の環境をまもり、さらに地球規模の変化にもそなえる</p> <p>戦略の方向性 目標 施策の柱</p> <p>戦略Ⅰ はくむ 環境保全・創造の基盤となる人・組織、仕組みづくりをはくむ ▶ 持続可能なライフスタイルを実践する人材を“はくむ” ▶ 環境に配慮したビジネススタイルに取り組む事業者を“はくむ” ▶ 環境を中心とした多様な主体とのつながりを“はくむ”</p> <p>戦略Ⅱ まもる 良好な環境をまもる ▶ 未来につながる環境を“まもる” ▶ 市民にとっての憩いの空間を“まもる”</p> <p>戦略Ⅲ そなえる 気候変動による影響にそなえる ▶ 気候変動による大規模災害に“そなえる” ▶ ヒートアイランド現象に“そなえる”</p> <p>分野別目標 本市の環境課題の解決に向けた分野ごとの目標</p> <table border="1"> <tr> <td> エネルギー 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換 </td> <td> 生活環境 健康で快適な暮らしを支える環境の保全 </td> <td> みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成 </td> <td> 都市環境 快適な都市環境の創造 </td> </tr> <tr> <td> 資源循環 資源を大切に社会システムへの形成 </td> <td> 環境汚染防止対策の推進 環境美化の推進 ヒートアイランド対策の推進 日照障害・電波障害対策 </td> <td> 自然環境の保全 自然資源の持続的な利用 みどりを継承する みどりを生み出す みどりを活かす 市民参画、協働により、みどりのまちづくりを進める </td> <td> 景観まちづくりの推進 自動車の過度に依存しない交通環境整備 環境に配慮した開発事業の誘導 </td> </tr> </table> <p>環境に関する課題解決のキーワード (基本理念) 『MOTTAINAI』(もったいない)</p>	エネルギー 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	生活環境 健康で快適な暮らしを支える環境の保全	みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成	都市環境 快適な都市環境の創造	資源循環 資源を大切に社会システムへの形成	環境汚染防止対策の推進 環境美化の推進 ヒートアイランド対策の推進 日照障害・電波障害対策	自然環境の保全 自然資源の持続的な利用 みどりを継承する みどりを生み出す みどりを活かす 市民参画、協働により、みどりのまちづくりを進める	景観まちづくりの推進 自動車の過度に依存しない交通環境整備 環境に配慮した開発事業の誘導	<p>吹田市第3次環境基本計画 施策体系図</p> <p>基本方針 安全で健康かつ快適な生活を営むことのできる良好な環境を確保する エネルギーや資源を大切に使い、循環する社会を目指す 市民、事業者、行政の協働で、持続可能な社会づくりを進める</p> <p>望ましい環境像 みどり与水 光と風 楽しく 共生し未来へつなげる 環境先進都市すいた</p> <p>重点戦略 総合的かつ分野横断的視点により、重点的に取り組む目標 人・仕組みをはくむことで、効果的に本市の環境をまもり、さらに地球規模の変化にもそなえる</p> <p>戦略の方向性 目標 施策の柱</p> <p>戦略Ⅰ はくむ 環境保全・創造の基盤となる人・組織、仕組みをはくむ ▶ 持続可能なライフスタイルを実践する人材を“はくむ” ▶ 環境に配慮したビジネススタイルに取り組む事業者を“はくむ” ▶ 環境を中心とした多様な主体とのつながりを“はくむ”</p> <p>戦略Ⅱ まもる 良好な環境をまもる ▶ 未来につながる環境を“まもる” ▶ 市民にとっての憩いの空間を“まもる”</p> <p>戦略Ⅲ そなえる 気候変動による影響にそなえる ▶ 気候変動による大規模災害に“そなえる” ▶ ヒートアイランド現象に“そなえる”</p> <p>分野別目標 本市の環境課題の解決に向けた分野ごとの目標</p> <table border="1"> <tr> <td> エネルギー 環境に配慮したエネルギーを効率的に活用する低炭素社会への転換 </td> <td> 生活環境 健康で快適な暮らしを支える環境の保全 </td> <td> みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成 </td> <td> 都市環境 快適な都市環境の創造 </td> </tr> <tr> <td> 資源循環 資源を大切に社会システムへの形成 </td> <td> 環境汚染防止対策の推進 環境美化の推進 ヒートアイランド対策の推進 日照障害・電波障害対策 </td> <td> 自然環境の保全 自然資源の持続的な利用 みどりを継承する みどりを生み出す みどりを活かす 市民参画、協働により、みどりのまちづくりを進める </td> <td> 景観まちづくりの推進 自動車の過度に依存しない交通環境整備 環境に配慮した開発事業の誘導 </td> </tr> </table> <p>環境に関する課題解決のキーワード (基本理念) 『MOTTAINAI』(もったいない)</p>	エネルギー 環境に配慮したエネルギーを効率的に活用する低炭素社会への転換	生活環境 健康で快適な暮らしを支える環境の保全	みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成	都市環境 快適な都市環境の創造	資源循環 資源を大切に社会システムへの形成	環境汚染防止対策の推進 環境美化の推進 ヒートアイランド対策の推進 日照障害・電波障害対策	自然環境の保全 自然資源の持続的な利用 みどりを継承する みどりを生み出す みどりを活かす 市民参画、協働により、みどりのまちづくりを進める	景観まちづくりの推進 自動車の過度に依存しない交通環境整備 環境に配慮した開発事業の誘導	P11 (変更)
エネルギー 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	生活環境 健康で快適な暮らしを支える環境の保全	みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成	都市環境 快適な都市環境の創造																
資源循環 資源を大切に社会システムへの形成	環境汚染防止対策の推進 環境美化の推進 ヒートアイランド対策の推進 日照障害・電波障害対策	自然環境の保全 自然資源の持続的な利用 みどりを継承する みどりを生み出す みどりを活かす 市民参画、協働により、みどりのまちづくりを進める	景観まちづくりの推進 自動車の過度に依存しない交通環境整備 環境に配慮した開発事業の誘導																
エネルギー 環境に配慮したエネルギーを効率的に活用する低炭素社会への転換	生活環境 健康で快適な暮らしを支える環境の保全	みどり・自然共生 自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成	都市環境 快適な都市環境の創造																
資源循環 資源を大切に社会システムへの形成	環境汚染防止対策の推進 環境美化の推進 ヒートアイランド対策の推進 日照障害・電波障害対策	自然環境の保全 自然資源の持続的な利用 みどりを継承する みどりを生み出す みどりを活かす 市民参画、協働により、みどりのまちづくりを進める	景観まちづくりの推進 自動車の過度に依存しない交通環境整備 環境に配慮した開発事業の誘導																
5	<p>環境先進都市すいた</p> <p>重点戦略</p> <p>はくむ 環境保全・創造の基盤となる人・組織、仕組みをはくむ</p> <p>まもる 良好な環境をまもる</p> <p>そなえる 気候変動による影響にそなえる</p> <p>人・仕組みをはくむことで、効果的に本市の環境をまもり、さらに地球規模の変化にもそなえる</p>	<p>環境先進都市すいた</p> <p>重点戦略</p> <p>はくむ 環境保全・創造の基盤となる人・組織、仕組みをはくむ</p> <p>まもる 良好な環境をまもる</p> <p>そなえる 気候変動による影響にそなえる</p> <p>人・仕組みをはくむことで、効果的に本市の環境をまもり、さらに地球規模の変化にもそなえる</p>	P12 (変更)																

No.	変更前 (旧)	変更後 (新)	備考																											
6	(新設)	<div data-bbox="1137 188 1944 260" style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">コ ラ ム 様々な市民活動団体などの取組 ～持続可能な社会づくり～</p> <p>本市では、環境保全を図る市民団体の活発な活動が、良好な環境の維持に貢献しています。これらの市民団体をはじめ大学などとの連携を進めています。</p> <table border="1" data-bbox="1137 339 1944 890"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">環境保全を図る市民団体一覧*</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">団体名</th> <th style="width: 50%;">内容</th> <th style="width: 30%;">主な活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジェンダ21すいた</td> <td>市民・事業者・行政の三者協働で、持続可能な社会の実現を目的として、環境活動を実践</td> <td>地球温暖化防止「すいたクールアース大作戦」、食品ロスの啓発「すいた食べきり運動啓発キャンペーン」など</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人 吹田・江坂ビジョン21</td> <td>吹田市内（豊津・江坂地域が中心）の環境美化、交通安全の改善・向上への活動</td> <td>街道の清掃 不法駐輪撤去のチラシ配布</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人 すいた環境学習協会</td> <td>環境学習支援活動、みどりの保全活動、環境美化活動、普及啓発活動を中心に社会貢献活動など、幅広い感動創造活動を推進</td> <td>出前授業、市民環境講座、第2・第7緑地保全活動、環境美化推進員活動、公園の樹木ガイド</td> </tr> <tr> <td>吹田自然観察会</td> <td>毎月吹田市内で身近な自然の観察会の実施 生物調査、自然保全活動なども実施</td> <td>自然観察会（どんぐり祭りなど） 紫金山子ども自然教室</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人 すいた市民環境会議</td> <td>身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境などの保全、回復、創成をめざし、地球温暖化防止の為に私たち一人一人ができることを考え他団体と共に行動する主な活動</td> <td>市内の生物調査・観察会（希少植物・10年毎の大木調査など）、まちあるき、市民共同発電所設置、森のクラフト、エコクッキング</td> </tr> <tr> <td>千里竹の会</td> <td>千里ニュータウンに残る竹林の保全、竹のイベント、竹の細工などを実施</td> <td>たけのご唄り 本庁舎の門松飾りつけ</td> </tr> <tr> <td>公益財団法人 千里リサイクルプラザ</td> <td>地球温暖化の防止などを含む循環型社会の構築・推進に関する事業を行う。啓発・普及事業、情報提供事業、講演・講座・環境学習支援事業などを実施</td> <td>環境学習発表会の開催 万博ごみゼロウォーク、フェスタ等の開催 市民研究員による調査・研究・実践活動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 吹田市民公益活動団体ガイドブック掲載の環境の保全を図る活動団体のうち、アンケートの回答があり、かつコラムの掲載を了承していただいた団体</p> <div data-bbox="1137 946 1944 1241" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">オオキンケイギク（特定外来生物）の駆除活動を実施</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="1160 1010 1317 1121">  <p>オオキンケイギク</p> </div> <div data-bbox="1328 1010 1765 1225"> <p>もともと日本にいなかった外来生物のうち、生態系に影響を及ぼすものについて、特定外来生物として政府が指定しています。</p> <p>特定外来生物の一つであるオオキンケイギクは、市内に多く生育していたため、その拡散を少しでも抑えようと、特定外来植物から吹田の自然を守る会の活動に賛同し、2019年6月、同会と市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダすいた21、特定非営利活動法人すいた環境学習協会、特定非営利活動法人すいた市民環境会議、特定非営利活動法人吹田みどりの会、吹田自然観察会が共催で駆除活動を行いました。</p> </div> <div data-bbox="1776 962 1921 1225"> <p style="text-align: center;">活動の様子</p>  </div> </div> </div> <div data-bbox="1137 1257 1944 1385" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">学生との連携</p> <p>「すいた環境学生ネットワーク（SENS）」※とともに、市民団体と協働して、環境啓発活動を行っています。</p> <p>※市内の大学・研究機関又は市内で環境活動に取り組む大学・研究機関の学生及び学生団体で構成され、現在、関西大学良永ゼミや大阪大学環境サークルG E C Sを中心に活動</p> </div> </div>	環境保全を図る市民団体一覧*			団体名	内容	主な活動	アジェンダ21すいた	市民・事業者・行政の三者協働で、持続可能な社会の実現を目的として、環境活動を実践	地球温暖化防止「すいたクールアース大作戦」、食品ロスの啓発「すいた食べきり運動啓発キャンペーン」など	特定非営利活動法人 吹田・江坂ビジョン21	吹田市内（豊津・江坂地域が中心）の環境美化、交通安全の改善・向上への活動	街道の清掃 不法駐輪撤去のチラシ配布	特定非営利活動法人 すいた環境学習協会	環境学習支援活動、みどりの保全活動、環境美化活動、普及啓発活動を中心に社会貢献活動など、幅広い感動創造活動を推進	出前授業、市民環境講座、第2・第7緑地保全活動、環境美化推進員活動、公園の樹木ガイド	吹田自然観察会	毎月吹田市内で身近な自然の観察会の実施 生物調査、自然保全活動なども実施	自然観察会（どんぐり祭りなど） 紫金山子ども自然教室	特定非営利活動法人 すいた市民環境会議	身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境などの保全、回復、創成をめざし、地球温暖化防止の為に私たち一人一人ができることを考え他団体と共に行動する主な活動	市内の生物調査・観察会（希少植物・10年毎の大木調査など）、まちあるき、市民共同発電所設置、森のクラフト、エコクッキング	千里竹の会	千里ニュータウンに残る竹林の保全、竹のイベント、竹の細工などを実施	たけのご唄り 本庁舎の門松飾りつけ	公益財団法人 千里リサイクルプラザ	地球温暖化の防止などを含む循環型社会の構築・推進に関する事業を行う。啓発・普及事業、情報提供事業、講演・講座・環境学習支援事業などを実施	環境学習発表会の開催 万博ごみゼロウォーク、フェスタ等の開催 市民研究員による調査・研究・実践活動	P13 (追加)
環境保全を図る市民団体一覧*																														
団体名	内容	主な活動																												
アジェンダ21すいた	市民・事業者・行政の三者協働で、持続可能な社会の実現を目的として、環境活動を実践	地球温暖化防止「すいたクールアース大作戦」、食品ロスの啓発「すいた食べきり運動啓発キャンペーン」など																												
特定非営利活動法人 吹田・江坂ビジョン21	吹田市内（豊津・江坂地域が中心）の環境美化、交通安全の改善・向上への活動	街道の清掃 不法駐輪撤去のチラシ配布																												
特定非営利活動法人 すいた環境学習協会	環境学習支援活動、みどりの保全活動、環境美化活動、普及啓発活動を中心に社会貢献活動など、幅広い感動創造活動を推進	出前授業、市民環境講座、第2・第7緑地保全活動、環境美化推進員活動、公園の樹木ガイド																												
吹田自然観察会	毎月吹田市内で身近な自然の観察会の実施 生物調査、自然保全活動なども実施	自然観察会（どんぐり祭りなど） 紫金山子ども自然教室																												
特定非営利活動法人 すいた市民環境会議	身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境などの保全、回復、創成をめざし、地球温暖化防止の為に私たち一人一人ができることを考え他団体と共に行動する主な活動	市内の生物調査・観察会（希少植物・10年毎の大木調査など）、まちあるき、市民共同発電所設置、森のクラフト、エコクッキング																												
千里竹の会	千里ニュータウンに残る竹林の保全、竹のイベント、竹の細工などを実施	たけのご唄り 本庁舎の門松飾りつけ																												
公益財団法人 千里リサイクルプラザ	地球温暖化の防止などを含む循環型社会の構築・推進に関する事業を行う。啓発・普及事業、情報提供事業、講演・講座・環境学習支援事業などを実施	環境学習発表会の開催 万博ごみゼロウォーク、フェスタ等の開催 市民研究員による調査・研究・実践活動																												

No.	変更前（旧）	変更後（新）	備考																																																
7	重点戦略「はぐくむ」 <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成指標を実現するための活動指標</th> <th>現況値 H30年度 (2018年度)</th> <th>目標値 R10年度 (2028年度)</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコスクール活動簿※1の評価（教室での取組）が21点以上の学校数</td> <td>17校</td> <td>43校</td> <td>指導室</td> </tr> <tr> <td>環境啓発イベント参加者数</td> <td>12,904人</td> <td>14,200人</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>すいた環境サポーター養成講座修了者数（累計）</td> <td>60人</td> <td>255人</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>アジェンダ2.1すいたの事業者会員数</td> <td>13者</td> <td>43者</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>地域材使用量（累計）</td> <td>0㎡</td> <td>→</td> <td>環境政策室</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 エコスクール活動の進捗状況を各学校単位で評価。5点満点で5項目を評価（3学期末時点）。</p>	達成指標を実現するための活動指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課	エコスクール活動簿※1の評価（教室での取組）が21点以上の学校数	17校	43校	指導室	環境啓発イベント参加者数	12,904人	14,200人	環境政策室	すいた環境サポーター養成講座修了者数（累計）	60人	255人	環境政策室	アジェンダ2.1すいたの事業者会員数	13者	43者	環境政策室	地域材使用量（累計）	0㎡	→	環境政策室	重点戦略「はぐくむ」 <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成指標を実現するための活動指標</th> <th>現況値 H30年度 (2018年度)</th> <th>目標値 R10年度 (2028年度)</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコスクール活動簿※1の評価（教室での取組）が21点以上の学校数</td> <td>17校</td> <td>43校</td> <td>指導室</td> </tr> <tr> <td>環境啓発イベント参加者数</td> <td>12,904人</td> <td>14,200人</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>すいた環境サポーター養成講座修了者数（累計）</td> <td>60人</td> <td>255人</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>アジェンダ2.1すいたの事業者会員数</td> <td>13者</td> <td>43者</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>地域材使用量（累計）</td> <td>0㎡</td> <td>→</td> <td>環境政策室</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 エコスクール活動の進捗状況を各学校単位で評価。1項目につき5点満点で5項目を評価（3学期末時点）。</p>	達成指標を実現するための活動指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課	エコスクール活動簿※1の評価（教室での取組）が21点以上の学校数	17校	43校	指導室	環境啓発イベント参加者数	12,904人	14,200人	環境政策室	すいた環境サポーター養成講座修了者数（累計）	60人	255人	環境政策室	アジェンダ2.1すいたの事業者会員数	13者	43者	環境政策室	地域材使用量（累計）	0㎡	→	環境政策室	P16 (修正)
達成指標を実現するための活動指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課																																																
エコスクール活動簿※1の評価（教室での取組）が21点以上の学校数	17校	43校	指導室																																																
環境啓発イベント参加者数	12,904人	14,200人	環境政策室																																																
すいた環境サポーター養成講座修了者数（累計）	60人	255人	環境政策室																																																
アジェンダ2.1すいたの事業者会員数	13者	43者	環境政策室																																																
地域材使用量（累計）	0㎡	→	環境政策室																																																
達成指標を実現するための活動指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課																																																
エコスクール活動簿※1の評価（教室での取組）が21点以上の学校数	17校	43校	指導室																																																
環境啓発イベント参加者数	12,904人	14,200人	環境政策室																																																
すいた環境サポーター養成講座修了者数（累計）	60人	255人	環境政策室																																																
アジェンダ2.1すいたの事業者会員数	13者	43者	環境政策室																																																
地域材使用量（累計）	0㎡	→	環境政策室																																																
8	重点戦略「まもる」 <table border="1"> <thead> <tr> <th>重点戦略の達成指標</th> <th>現況値 H30年度 (2018年度)</th> <th>目標値 R10年度 (2028年度)</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市域の年間エネルギー消費量 ※1</td> <td>20.4 PJ H28年度 (2016年度)</td> <td>13.1 PJ</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>市民1人当たりのごみ排出量 (1日) ※1</td> <td>861 g</td> <td>760 g</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>生物多様性の認知度（重要性）</td> <td>36.6 % H28年度 (2016年度)</td> <td>50 %</td> <td>環境政策室</td> </tr> </tbody> </table>	重点戦略の達成指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課	市域の年間エネルギー消費量 ※1	20.4 PJ H28年度 (2016年度)	13.1 PJ	環境政策室	市民1人当たりのごみ排出量 (1日) ※1	861 g	760 g	環境政策室	生物多様性の認知度（重要性）	36.6 % H28年度 (2016年度)	50 %	環境政策室	重点戦略「まもる」 <table border="1"> <thead> <tr> <th>重点戦略の達成指標</th> <th>現況値 H30年度 (2018年度)</th> <th>目標値 R10年度 (2028年度)</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市域の年間エネルギー消費量※1</td> <td>20.4 PJ H28年度 (2016年度)</td> <td>13.1 PJ</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>市民1人当たりのごみ排出量 (1日) ※1</td> <td>861 g</td> <td>760 g</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合</td> <td>36.6 % H28年度 (2016年度)</td> <td>50 %</td> <td>環境政策室</td> </tr> </tbody> </table>	重点戦略の達成指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課	市域の年間エネルギー消費量※1	20.4 PJ H28年度 (2016年度)	13.1 PJ	環境政策室	市民1人当たりのごみ排出量 (1日) ※1	861 g	760 g	環境政策室	生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合	36.6 % H28年度 (2016年度)	50 %	環境政策室	P18 (修正)																
重点戦略の達成指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課																																																
市域の年間エネルギー消費量 ※1	20.4 PJ H28年度 (2016年度)	13.1 PJ	環境政策室																																																
市民1人当たりのごみ排出量 (1日) ※1	861 g	760 g	環境政策室																																																
生物多様性の認知度（重要性）	36.6 % H28年度 (2016年度)	50 %	環境政策室																																																
重点戦略の達成指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課																																																
市域の年間エネルギー消費量※1	20.4 PJ H28年度 (2016年度)	13.1 PJ	環境政策室																																																
市民1人当たりのごみ排出量 (1日) ※1	861 g	760 g	環境政策室																																																
生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合	36.6 % H28年度 (2016年度)	50 %	環境政策室																																																
9	施策の柱と具体的施策 市民にとっての憩いの空間を“まもる” <ol style="list-style-type: none"> ① 生物多様性の保全に係る啓発活動（環境政策室） ② 公園・街路樹の整備及び管理、緑化の推進、緑地の保全（公園みどり室、道路室、環境政策室） ③ 水路等の清掃による環境保全（水循環室） ④ 特定外来生物の防除（地域環境課、環境政策室） 	施策の柱と具体的施策 市民にとっての憩いの空間を“まもる” <ol style="list-style-type: none"> ① 生物多様性の保全への理解を深めるための効果的なイベントの実施及び啓発活動（環境政策室） ② 公園・街路樹の整備及び管理、緑化の推進、緑地の保全（公園みどり室、道路室、環境政策室） ③ 水路などの清掃による環境保全（水循環室） ④ 特定外来生物の防除（地域環境課、環境政策室） 	P19 (修正)																																																

No.	変更前（旧）	変更後（新）	備考																								
10	重点戦略「そなえる」 <table border="1"> <thead> <tr> <th>重点戦略の達成指標</th> <th>現況値 H30年度 (2018年度)</th> <th>目標値 R10年度 (2028年度)</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害に備えている市民の割合 ※1</td> <td>34.8 %</td> <td>75 %</td> <td>危機管理室</td> </tr> <tr> <td>居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）の満足度の割合</td> <td>21 %</td> <td>30 %</td> <td>環境政策室</td> </tr> </tbody> </table>	重点戦略の達成指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課	災害に備えている市民の割合 ※1	34.8 %	75 %	危機管理室	居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）の満足度の割合	21 %	30 %	環境政策室	重点戦略「そなえる」 <table border="1"> <thead> <tr> <th>重点戦略の達成指標</th> <th>現況値 H30年度 (2018年度)</th> <th>目標値 R10年度 (2028年度)</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害に備えている市民の割合※1</td> <td>34.8 %</td> <td>75 %</td> <td>危機管理室</td> </tr> <tr> <td>居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）に満足している市民の割合</td> <td>21 %</td> <td>30 %</td> <td>環境政策室</td> </tr> </tbody> </table>	重点戦略の達成指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課	災害に備えている市民の割合※1	34.8 %	75 %	危機管理室	居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）に満足している市民の割合	21 %	30 %	環境政策室	P20 (修正)
重点戦略の達成指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課																								
災害に備えている市民の割合 ※1	34.8 %	75 %	危機管理室																								
居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）の満足度の割合	21 %	30 %	環境政策室																								
重点戦略の達成指標	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課																								
災害に備えている市民の割合※1	34.8 %	75 %	危機管理室																								
居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）に満足している市民の割合	21 %	30 %	環境政策室																								
11	 <p>現在、失われつつある生物多様性を保全するためには、吹田市内だけでなく、より広域的な視点で施策を展開する必要があります。</p> <p>都市部が木材を利用すると里山の間伐などの森林整備が進み、健全な森林が育成されます。間伐が進み森林内に陽光が差し込む健全な森林は、多様な動植物の生息・生育が可能となり生物多様性に富んでいきます。</p> <p>そこで、本市は、広域的な生物多様性の保全を図るため、各地域がその特性を生かし強みを発揮し相互に支え合う「地域循環共生圏」という考えに基づき、平成17年（2005年）からフレンドシップ協定を結んでいる能勢町と連携し、木材利用をはじめとした取組を進めています。これを足掛かりとして、能勢町以外の様々な近隣自治体との連携を図ります。</p>	 <p>本市では、フレンドシップ協定を結んでいる能勢町と連携し、「地域循環共生圏」の構築に向けて、木材利用をはじめとする取組を進めています。</p> <p>“地域材を利用した生活空間の形成”や“幼児教育における木育の導入”といった都市部の木材利用を活性化し、身近に木に触れることができる環境を整備することは、市民の健康増進や市内の環境貢献人材の輩出に貢献します。また、都市部の木材利用が活性化することで、里山の間伐などの森林整備が進み、健全な森林が育成されます。これにより、温室効果ガス（CO₂）の吸収量の増加や災害防止の効果が期待できます。さらに、間伐が進み森林内に陽光が差し込む健全な森林は、多様な動植物の生息・生育が可能となり、生物多様性に富んでいきます。</p> <p>本市は、持続可能な社会（低炭素・循環型・自然共生の3つの社会が成立）の実現のため、各地域がその特性を生かし強みを発揮し相互に支え合う「地域循環共生圏」の構築を、能勢町との取組のノウハウを活用しながら、能勢町以外の様々な近隣自治体へと拡大を図ります。</p>	P22 (修正)																								
12	エネルギー分野 目標 <u>限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換</u>	エネルギー分野 目標 <u>環境に配慮したエネルギーを活用する低炭素社会への転換</u> (※ <u>フューチャー・デザインのワークショップ</u> で出た意見により修正) ↳ 平成31年3月から令和元年8月まで、本計画をテーマに全4回で実施	P26 (修正)																								

No.	変更前（旧）	変更後（新）	備考																																																																																
13	エネルギー分野 3 施策の柱と具体的施策 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の柱</th> <th>施策</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">ライフスタイルや事業活動の転換促進</td> <td>市民・事業者との連携・協働により日常生活や事業活動における地球環境に配慮した行動の普及促進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>低公害車・低燃費車の導入及び普及促進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮した事業活動への転換に向けた環境マネジメントシステムの導入促進</td> <td>地域経済振興室 環境政策室</td> </tr> <tr> <td>★事業者に向けた事業活動転換の促進策の検討・推進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>エネルギー多量消費事業者等とのネットワークを活用した事業活動転換の促進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>グリーン調達、グリーン購入の推進及び普及促進</td> <td>契約検査室 環境政策室</td> </tr> <tr> <td>市独自の環境マネジメントに基づく率先した節エネルギーの推進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">省エネルギー機器等の導入促進</td> <td>市民・事業者との連携・協働による省エネルギー機器等の導入促進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>家庭及び事業所における省エネルギー機器等の改修及び導入に係る情報提供及び啓発の推進</td> <td>地域経済振興室 環境政策室</td> </tr> <tr> <td>★家電買い替え支援による省エネルギー機器導入策の検討・推進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>公共施設における省エネルギー機器等の導入推進</td> <td>環境政策室 施設を所管する室課</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">再生可能エネルギーの導入拡大</td> <td>再生可能エネルギーの利活用に関する啓発活動や情報提供の推進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>市民・事業者との連携・協働による太陽光発電・太陽熱利用の普及促進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>家庭・事業者における再生可能エネルギー利活用を拡大するための新たな設備導入の促進策の検討</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入推進</td> <td>環境政策室 水再生室 水道部浄水室 施設を所管する室課</td> </tr> <tr> <td>★RE100 に向けた再生可能エネルギー比率の高い電力調達の推進及び促進</td> <td>環境政策室 施設を所管する室課</td> </tr> <tr> <td>★防災拠点をはじめとした公共施設における大規模災害時の自立・分散型エネルギー確保に向けた、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた電源設備の導入推進</td> <td>環境政策室 危機管理室 施設を所管する室課</td> </tr> </tbody> </table>	施策の柱	施策	担当室課	ライフスタイルや事業活動の転換促進	市民・事業者との連携・協働により日常生活や事業活動における地球環境に配慮した行動の普及促進	環境政策室	低公害車・低燃費車の導入及び普及促進	環境政策室	環境に配慮した事業活動への転換に向けた環境マネジメントシステムの導入促進	地域経済振興室 環境政策室	★事業者に向けた事業活動転換の促進策の検討・推進	環境政策室	エネルギー多量消費事業者等とのネットワークを活用した事業活動転換の促進	環境政策室	グリーン調達、グリーン購入の推進及び普及促進	契約検査室 環境政策室	市独自の環境マネジメントに基づく率先した節エネルギーの推進	環境政策室	省エネルギー機器等の導入促進	市民・事業者との連携・協働による省エネルギー機器等の導入促進	環境政策室	家庭及び事業所における省エネルギー機器等の改修及び導入に係る情報提供及び啓発の推進	地域経済振興室 環境政策室	★家電買い替え支援による省エネルギー機器導入策の検討・推進	環境政策室	公共施設における省エネルギー機器等の導入推進	環境政策室 施設を所管する室課	再生可能エネルギーの導入拡大	再生可能エネルギーの利活用に関する啓発活動や情報提供の推進	環境政策室	市民・事業者との連携・協働による太陽光発電・太陽熱利用の普及促進	環境政策室	家庭・事業者における再生可能エネルギー利活用を拡大するための新たな設備導入の促進策の検討	環境政策室	公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入推進	環境政策室 水再生室 水道部浄水室 施設を所管する室課	★RE100 に向けた再生可能エネルギー比率の高い電力調達の推進及び促進	環境政策室 施設を所管する室課	★防災拠点をはじめとした公共施設における大規模災害時の自立・分散型エネルギー確保に向けた、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた電源設備の導入推進	環境政策室 危機管理室 施設を所管する室課	エネルギー分野 3 施策の柱と具体的施策 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の柱</th> <th>施策</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">ライフスタイルや事業活動の転換促進</td> <td>市民・事業者との連携・協働により日常生活や事業活動における地球環境に配慮した行動の普及促進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>低公害車・低燃費車の導入及び普及促進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮した事業活動への転換に向けた環境マネジメントシステムの導入促進</td> <td>地域経済振興室 環境政策室</td> </tr> <tr> <td>事業者に向けた事業活動転換の促進策の検討・推進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>エネルギー多量消費事業者などのネットワークを活用した事業活動転換の促進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>グリーン調達、グリーン購入の推進及び普及促進</td> <td>契約検査室 環境政策室</td> </tr> <tr> <td>市独自の環境マネジメントに基づく率先した節エネルギーの推進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">省エネルギー機器などの導入促進</td> <td>市民・事業者との連携・協働による省エネルギー機器などの導入促進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>家庭及び事業所における省エネルギー機器などの改修及び導入に係る情報提供及び啓発の推進</td> <td>地域経済振興室 環境政策室</td> </tr> <tr> <td>家電買い替え支援による省エネルギー機器導入策の検討・推進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>公共施設における省エネルギー機器などの導入推進</td> <td>環境政策室 施設を所管する室課</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">再生可能エネルギーの導入拡大</td> <td>再生可能エネルギーの利活用に関する啓発活動や情報提供の推進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>市民・事業者との連携・協働による太陽光発電・太陽熱利用などの再生可能エネルギーの普及促進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>家庭・事業者における再生可能エネルギー利活用を拡大するための新たな設備導入の促進策の検討</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入推進</td> <td>環境政策室 施設を所管する室課</td> </tr> <tr> <td>RE100 に向けた再生可能エネルギー比率の高い電力調達の推進及び促進</td> <td>環境政策室 施設を所管する室課</td> </tr> <tr> <td>防災拠点をはじめとした公共施設における大規模災害時の自立・分散型エネルギー確保に向けた、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた電源設備の導入推進</td> <td>環境政策室 危機管理室 施設を所管する室課</td> </tr> </tbody> </table>	施策の柱	施策	担当室課	ライフスタイルや事業活動の転換促進	市民・事業者との連携・協働により日常生活や事業活動における地球環境に配慮した行動の普及促進	環境政策室	低公害車・低燃費車の導入及び普及促進	環境政策室	環境に配慮した事業活動への転換に向けた環境マネジメントシステムの導入促進	地域経済振興室 環境政策室	事業者に向けた事業活動転換の促進策の検討・推進	環境政策室	エネルギー多量消費事業者などのネットワークを活用した事業活動転換の促進	環境政策室	グリーン調達、グリーン購入の推進及び普及促進	契約検査室 環境政策室	市独自の環境マネジメントに基づく率先した節エネルギーの推進	環境政策室	省エネルギー機器などの導入促進	市民・事業者との連携・協働による省エネルギー機器などの導入促進	環境政策室	家庭及び事業所における省エネルギー機器などの改修及び導入に係る情報提供及び啓発の推進	地域経済振興室 環境政策室	家電買い替え支援による省エネルギー機器導入策の検討・推進	環境政策室	公共施設における省エネルギー機器などの導入推進	環境政策室 施設を所管する室課	再生可能エネルギーの導入拡大	再生可能エネルギーの利活用に関する啓発活動や情報提供の推進	環境政策室	市民・事業者との連携・協働による太陽光発電・太陽熱利用などの再生可能エネルギーの普及促進	環境政策室	家庭・事業者における再生可能エネルギー利活用を拡大するための新たな設備導入の促進策の検討	環境政策室	公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入推進	環境政策室 施設を所管する室課	RE100 に向けた再生可能エネルギー比率の高い電力調達の推進及び促進	環境政策室 施設を所管する室課	防災拠点をはじめとした公共施設における大規模災害時の自立・分散型エネルギー確保に向けた、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた電源設備の導入推進	環境政策室 危機管理室 施設を所管する室課	P27 (修正)
施策の柱	施策	担当室課																																																																																	
ライフスタイルや事業活動の転換促進	市民・事業者との連携・協働により日常生活や事業活動における地球環境に配慮した行動の普及促進	環境政策室																																																																																	
	低公害車・低燃費車の導入及び普及促進	環境政策室																																																																																	
	環境に配慮した事業活動への転換に向けた環境マネジメントシステムの導入促進	地域経済振興室 環境政策室																																																																																	
	★事業者に向けた事業活動転換の促進策の検討・推進	環境政策室																																																																																	
	エネルギー多量消費事業者等とのネットワークを活用した事業活動転換の促進	環境政策室																																																																																	
	グリーン調達、グリーン購入の推進及び普及促進	契約検査室 環境政策室																																																																																	
	市独自の環境マネジメントに基づく率先した節エネルギーの推進	環境政策室																																																																																	
省エネルギー機器等の導入促進	市民・事業者との連携・協働による省エネルギー機器等の導入促進	環境政策室																																																																																	
	家庭及び事業所における省エネルギー機器等の改修及び導入に係る情報提供及び啓発の推進	地域経済振興室 環境政策室																																																																																	
	★家電買い替え支援による省エネルギー機器導入策の検討・推進	環境政策室																																																																																	
	公共施設における省エネルギー機器等の導入推進	環境政策室 施設を所管する室課																																																																																	
再生可能エネルギーの導入拡大	再生可能エネルギーの利活用に関する啓発活動や情報提供の推進	環境政策室																																																																																	
	市民・事業者との連携・協働による太陽光発電・太陽熱利用の普及促進	環境政策室																																																																																	
	家庭・事業者における再生可能エネルギー利活用を拡大するための新たな設備導入の促進策の検討	環境政策室																																																																																	
	公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入推進	環境政策室 水再生室 水道部浄水室 施設を所管する室課																																																																																	
	★RE100 に向けた再生可能エネルギー比率の高い電力調達の推進及び促進	環境政策室 施設を所管する室課																																																																																	
	★防災拠点をはじめとした公共施設における大規模災害時の自立・分散型エネルギー確保に向けた、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた電源設備の導入推進	環境政策室 危機管理室 施設を所管する室課																																																																																	
	施策の柱	施策	担当室課																																																																																
ライフスタイルや事業活動の転換促進	市民・事業者との連携・協働により日常生活や事業活動における地球環境に配慮した行動の普及促進	環境政策室																																																																																	
	低公害車・低燃費車の導入及び普及促進	環境政策室																																																																																	
	環境に配慮した事業活動への転換に向けた環境マネジメントシステムの導入促進	地域経済振興室 環境政策室																																																																																	
	事業者に向けた事業活動転換の促進策の検討・推進	環境政策室																																																																																	
	エネルギー多量消費事業者などのネットワークを活用した事業活動転換の促進	環境政策室																																																																																	
	グリーン調達、グリーン購入の推進及び普及促進	契約検査室 環境政策室																																																																																	
	市独自の環境マネジメントに基づく率先した節エネルギーの推進	環境政策室																																																																																	
省エネルギー機器などの導入促進	市民・事業者との連携・協働による省エネルギー機器などの導入促進	環境政策室																																																																																	
	家庭及び事業所における省エネルギー機器などの改修及び導入に係る情報提供及び啓発の推進	地域経済振興室 環境政策室																																																																																	
	家電買い替え支援による省エネルギー機器導入策の検討・推進	環境政策室																																																																																	
	公共施設における省エネルギー機器などの導入推進	環境政策室 施設を所管する室課																																																																																	
再生可能エネルギーの導入拡大	再生可能エネルギーの利活用に関する啓発活動や情報提供の推進	環境政策室																																																																																	
	市民・事業者との連携・協働による太陽光発電・太陽熱利用などの再生可能エネルギーの普及促進	環境政策室																																																																																	
	家庭・事業者における再生可能エネルギー利活用を拡大するための新たな設備導入の促進策の検討	環境政策室																																																																																	
	公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入推進	環境政策室 施設を所管する室課																																																																																	
	RE100 に向けた再生可能エネルギー比率の高い電力調達の推進及び促進	環境政策室 施設を所管する室課																																																																																	
防災拠点をはじめとした公共施設における大規模災害時の自立・分散型エネルギー確保に向けた、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた電源設備の導入推進	環境政策室 危機管理室 施設を所管する室課																																																																																		

No.	変更前（旧）	変更後（新）	備考
14	<p>6 これまでの特徴的な取組 (1) 吹田市地球温暖化対策新実行計画(すいたんのCO2大作戦)の改訂</p> <p>地球全体の環境に深刻な影響を及ぼす地球温暖化を防止するため、本市では平成23年(2011年)3月に、市域の地球温暖化対策の目標と施策を定める「吹田市地球温暖化対策新実行計画 すいたんのCO2大作戦」を平成28年(2016年)3月に策定しました。</p> <p>地球温暖化に関わる社会情勢の変化を踏まえるとともに、上位計画である「吹田市第2次環境基本計画(改訂版)」(平成26年(2014年)3月策定)と一体となって、より効果的に取組を推進していくための見直しを行いました。</p>	<p>6 これまでの特徴的な取組 (1) 吹田市地球温暖化対策新実行計画(すいたんのCO2大作戦)の改訂</p> <p>地球全体の環境に深刻な影響を及ぼす地球温暖化を防止するため、本市では平成23年(2011年)3月に、市域の地球温暖化対策の目標と施策を定める「吹田市地球温暖化対策新実行計画 すいたんのCO2大作戦」を策定しました。</p> <p>地球温暖化に関わる社会情勢の変化を踏まえるとともに、上位計画である「吹田市第2次環境基本計画(改訂版)」(平成26年(2014年)3月策定)と一体となって、より効果的に取組を推進していくため、平成28年(2016年)3月に見直しを行いました。</p>	P29 (修正)
15	<p>6 これまでの特徴的な取組 (3) 市有施設の屋根貸しによる太陽光発電システム設置促進事業</p> <p>再生可能エネルギーの導入推進の一環として、太陽光発電システムを設置する事業者に、市が所有する施設の屋根を貸し出し、事業者から施設の使用料などを得る太陽光発電システム設置促進事業を平成28年(2016年)から行っています。</p> <p>事業者は、吹田市と協定書を締結して、市有施設の屋根などに係る行政財産目的外使用許可を受けた後、使用料を支払うことで、市有施設の屋根などを借り受けることができます。平成29年(2017年)は、市内3か所(4施設)で発電を行っており、CO2の削減に貢献しています。</p>	<p>6 これまでの特徴的な取組 (3) 市有施設の屋根貸しによる太陽光発電システム設置促進事業</p> <p>再生可能エネルギーの導入推進の一環として、太陽光発電システムを設置する事業者に、市が所有する施設の屋根を貸し出し、事業者から施設の使用料などを得る太陽光発電システム設置促進事業を平成28年(2016年)から行っています。</p> <p>事業者は、吹田市と協定書を締結して、市有施設の屋根などに係る行政財産目的外使用許可を受けた後、使用料を支払うことで、市有施設の屋根などを借り受けることができます。平成30年(2018年)は、市内3か所(4施設)で発電を行っており、CO2の削減に貢献しています。</p>	P29 (修正)

No.	変更前（旧）	変更後（新）	備考																																																																																										
16	資源循環分野 3 施策の柱と具体的施策 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の柱</th> <th>施策</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">ごみの発生抑制を優先する社会への転換</td> <td>★食品ロスの削減やプラスチックごみを含むごみの減量・再資源化に関する啓発活動や情報提供の充実化</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>市民団体や事業者との連携・協働による学校や地域の環境教育・環境学習の充実化</td> <td>環境政策室 指導室</td> </tr> <tr> <td>環境マネジメントシステムの普及や事業者向け啓発活動・情報提供活動の充実化</td> <td>環境政策室 事業課</td> </tr> <tr> <td>★「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」に基づくレジ袋削減に向けた PR 活動の実施</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">多くの市民が参加しやすいリサイクルシステムの構築</td> <td>12 種分別の徹底、ごみの減量や再資源化を市民全体に浸透させるための仕組みづくりの推進</td> <td>環境政策室 事業課 破碎選別工場</td> </tr> <tr> <td>資源ごみ分別収集やペットボトル・廃食用油などの拠点回収等の拡大など、リサイクル手段の拡充の推進</td> <td>環境政策室 事業課 破碎選別工場</td> </tr> <tr> <td>★再生資源集団回収やエコイベントなど、地域リサイクル活動の活性化</td> <td>環境政策室 事業課</td> </tr> <tr> <td>再生品の使用拡大及び再生資源事業者との連携によるリサイクルシステムの安定化</td> <td>環境政策室 破碎選別工場</td> </tr> <tr> <td>★フードドライブの推進及びフードバンクとの連携</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">排出者責任の確立と事業系ごみの減量促進</td> <td>廃棄物管理責任者等を通じた排出管理指導の強化及び事業者全体に排出者責任の意識の浸透</td> <td>環境政策室 事業課</td> </tr> <tr> <td>事業系ごみに関する情報提供の充実、多量排出占有者等への指導強化等によるリサイクルの促進</td> <td>環境政策室 事業課</td> </tr> <tr> <td>燃焼ごみ以外の搬入禁止の周知徹底及び、古紙等資源回収ボックスの利用促進</td> <td>資源循環エネルギーセンター</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">持続可能な低炭素社会実現に寄与する収集体制や処理システムの構築</td> <td>リサイクルや適正処理等の推進に適した分別収集体制の確立</td> <td>事業課</td> </tr> <tr> <td>施設の適切な維持管理と計画的な整備など、持続可能な低炭素社会実現に寄与する処理システムの構築</td> <td>資源循環エネルギーセンター 破碎選別工場</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水資源の有効利用と健全な水循環の推進</td> <td>雨水の有効利用の推進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>下水の高度処理水などの再利用の推進</td> <td>水再生室</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">産業廃棄物の適正処理</td> <td>節水型社会の定着に向けた啓発活動</td> <td>水道部総務室</td> </tr> <tr> <td>◆産業廃棄物適正処理についての指導・啓発 ◆使用済み自動車及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する事業者等の管理・指導</td> <td>(仮) 環境保全指導課</td> </tr> </tbody> </table>	施策の柱	施策	担当室課	ごみの発生抑制を優先する社会への転換	★食品ロスの削減やプラスチックごみを含むごみの減量・再資源化に関する啓発活動や情報提供の充実化	環境政策室	市民団体や事業者との連携・協働による学校や地域の環境教育・環境学習の充実化	環境政策室 指導室	環境マネジメントシステムの普及や事業者向け啓発活動・情報提供活動の充実化	環境政策室 事業課	★「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」に基づくレジ袋削減に向けた PR 活動の実施	環境政策室	多くの市民が参加しやすいリサイクルシステムの構築	12 種分別の徹底、ごみの減量や再資源化を市民全体に浸透させるための仕組みづくりの推進	環境政策室 事業課 破碎選別工場	資源ごみ分別収集やペットボトル・廃食用油などの拠点回収等の拡大など、リサイクル手段の拡充の推進	環境政策室 事業課 破碎選別工場	★再生資源集団回収やエコイベントなど、地域リサイクル活動の活性化	環境政策室 事業課	再生品の使用拡大及び再生資源事業者との連携によるリサイクルシステムの安定化	環境政策室 破碎選別工場	★フードドライブの推進及びフードバンクとの連携	環境政策室	排出者責任の確立と事業系ごみの減量促進	廃棄物管理責任者等を通じた排出管理指導の強化及び事業者全体に排出者責任の意識の浸透	環境政策室 事業課	事業系ごみに関する情報提供の充実、多量排出占有者等への指導強化等によるリサイクルの促進	環境政策室 事業課	燃焼ごみ以外の搬入禁止の周知徹底及び、古紙等資源回収ボックスの利用促進	資源循環エネルギーセンター	持続可能な低炭素社会実現に寄与する収集体制や処理システムの構築	リサイクルや適正処理等の推進に適した分別収集体制の確立	事業課	施設の適切な維持管理と計画的な整備など、持続可能な低炭素社会実現に寄与する処理システムの構築	資源循環エネルギーセンター 破碎選別工場	水資源の有効利用と健全な水循環の推進	雨水の有効利用の推進	環境政策室	下水の高度処理水などの再利用の推進	水再生室	産業廃棄物の適正処理	節水型社会の定着に向けた啓発活動	水道部総務室	◆産業廃棄物適正処理についての指導・啓発 ◆使用済み自動車及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する事業者等の管理・指導	(仮) 環境保全指導課	資源循環分野 3 施策の柱と具体的施策 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の柱</th> <th>施策</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">ごみの発生抑制を優先する社会への転換</td> <td>食品ロスの削減やプラスチックごみを含むごみの減量・再資源化に関する啓発活動や情報提供の充実化</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>市民団体や事業者との連携・協働による学校や地域の環境教育・環境学習の充実化</td> <td>環境政策室 指導室</td> </tr> <tr> <td>環境マネジメントシステムの普及や事業者向け啓発活動・情報提供活動の充実化</td> <td>環境政策室 事業課</td> </tr> <tr> <td>「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」に基づくレジ袋削減に向けた PR 活動の実施</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">多くの市民が参加しやすいリサイクルシステムの構築</td> <td>12 種分別の徹底、ごみの減量や再資源化を市民全体に浸透させるための仕組みづくりの推進</td> <td>環境政策室 事業課 破碎選別工場</td> </tr> <tr> <td>資源ごみ分別収集やペットボトル・廃食用油の拠点回収の拡大など、リサイクル手段の拡充の推進</td> <td>環境政策室 事業課 破碎選別工場</td> </tr> <tr> <td>再生資源集団回収やエコイベントなど、地域リサイクル活動の活性化</td> <td>環境政策室 事業課</td> </tr> <tr> <td>再生品の使用拡大及び再生資源事業者との連携によるリサイクルシステムの安定化</td> <td>環境政策室 破碎選別工場</td> </tr> <tr> <td>フードドライブの推進及びフードバンクとの連携</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">排出者責任の確立と事業系ごみの減量促進</td> <td>廃棄物管理責任者等を通じた排出管理指導の強化及び事業者全体に排出者責任の意識の浸透</td> <td>環境政策室 事業課</td> </tr> <tr> <td>事業系ごみに関する情報提供の充実、多量排出占有者への指導強化などによるリサイクルの促進</td> <td>環境政策室 事業課</td> </tr> <tr> <td>燃焼ごみ以外の搬入禁止の周知徹底及び、古紙など資源回収ボックスの利用促進</td> <td>資源循環エネルギーセンター</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">持続可能な低炭素社会実現に寄与する収集体制や処理システムの構築</td> <td>リサイクルや適正処理などの推進に適した分別収集体制の確立</td> <td>事業課</td> </tr> <tr> <td>施設の適切な維持管理と計画的な整備など、持続可能な低炭素社会実現に寄与する処理システムの構築</td> <td>資源循環エネルギーセンター 破碎選別工場</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水資源の有効利用と健全な水循環の推進</td> <td>雨水の有効利用の推進</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>下水処理水などの再利用の推進</td> <td>水再生室</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">産業廃棄物の適正処理</td> <td>節水型社会の定着に向けた啓発活動</td> <td>水道部総務室</td> </tr> <tr> <td>◆産業廃棄物適正処理についての指導・啓発 ◆使用済み自動車及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する事業者などの管理・指導</td> <td>(仮) 環境保全指導課</td> </tr> </tbody> </table>	施策の柱	施策	担当室課	ごみの発生抑制を優先する社会への転換	食品ロスの削減やプラスチックごみを含むごみの減量・再資源化に関する啓発活動や情報提供の充実化	環境政策室	市民団体や事業者との連携・協働による学校や地域の環境教育・環境学習の充実化	環境政策室 指導室	環境マネジメントシステムの普及や事業者向け啓発活動・情報提供活動の充実化	環境政策室 事業課	「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」に基づくレジ袋削減に向けた PR 活動の実施	環境政策室	多くの市民が参加しやすいリサイクルシステムの構築	12 種分別の徹底、ごみの減量や再資源化を市民全体に浸透させるための仕組みづくりの推進	環境政策室 事業課 破碎選別工場	資源ごみ分別収集やペットボトル・廃食用油の拠点回収の拡大など、リサイクル手段の拡充の推進	環境政策室 事業課 破碎選別工場	再生資源集団回収やエコイベントなど、地域リサイクル活動の活性化	環境政策室 事業課	再生品の使用拡大及び再生資源事業者との連携によるリサイクルシステムの安定化	環境政策室 破碎選別工場	フードドライブの推進及びフードバンクとの連携	環境政策室	排出者責任の確立と事業系ごみの減量促進	廃棄物管理責任者等を通じた排出管理指導の強化及び事業者全体に排出者責任の意識の浸透	環境政策室 事業課	事業系ごみに関する情報提供の充実、多量排出占有者への指導強化などによるリサイクルの促進	環境政策室 事業課	燃焼ごみ以外の搬入禁止の周知徹底及び、古紙など資源回収ボックスの利用促進	資源循環エネルギーセンター	持続可能な低炭素社会実現に寄与する収集体制や処理システムの構築	リサイクルや適正処理などの推進に適した分別収集体制の確立	事業課	施設の適切な維持管理と計画的な整備など、持続可能な低炭素社会実現に寄与する処理システムの構築	資源循環エネルギーセンター 破碎選別工場	水資源の有効利用と健全な水循環の推進	雨水の有効利用の推進	環境政策室	下水処理水などの再利用の推進	水再生室	産業廃棄物の適正処理	節水型社会の定着に向けた啓発活動	水道部総務室	◆産業廃棄物適正処理についての指導・啓発 ◆使用済み自動車及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する事業者などの管理・指導	(仮) 環境保全指導課	P31 (修正)
施策の柱	施策	担当室課																																																																																											
ごみの発生抑制を優先する社会への転換	★食品ロスの削減やプラスチックごみを含むごみの減量・再資源化に関する啓発活動や情報提供の充実化	環境政策室																																																																																											
	市民団体や事業者との連携・協働による学校や地域の環境教育・環境学習の充実化	環境政策室 指導室																																																																																											
	環境マネジメントシステムの普及や事業者向け啓発活動・情報提供活動の充実化	環境政策室 事業課																																																																																											
	★「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」に基づくレジ袋削減に向けた PR 活動の実施	環境政策室																																																																																											
多くの市民が参加しやすいリサイクルシステムの構築	12 種分別の徹底、ごみの減量や再資源化を市民全体に浸透させるための仕組みづくりの推進	環境政策室 事業課 破碎選別工場																																																																																											
	資源ごみ分別収集やペットボトル・廃食用油などの拠点回収等の拡大など、リサイクル手段の拡充の推進	環境政策室 事業課 破碎選別工場																																																																																											
	★再生資源集団回収やエコイベントなど、地域リサイクル活動の活性化	環境政策室 事業課																																																																																											
	再生品の使用拡大及び再生資源事業者との連携によるリサイクルシステムの安定化	環境政策室 破碎選別工場																																																																																											
	★フードドライブの推進及びフードバンクとの連携	環境政策室																																																																																											
排出者責任の確立と事業系ごみの減量促進	廃棄物管理責任者等を通じた排出管理指導の強化及び事業者全体に排出者責任の意識の浸透	環境政策室 事業課																																																																																											
	事業系ごみに関する情報提供の充実、多量排出占有者等への指導強化等によるリサイクルの促進	環境政策室 事業課																																																																																											
	燃焼ごみ以外の搬入禁止の周知徹底及び、古紙等資源回収ボックスの利用促進	資源循環エネルギーセンター																																																																																											
持続可能な低炭素社会実現に寄与する収集体制や処理システムの構築	リサイクルや適正処理等の推進に適した分別収集体制の確立	事業課																																																																																											
	施設の適切な維持管理と計画的な整備など、持続可能な低炭素社会実現に寄与する処理システムの構築	資源循環エネルギーセンター 破碎選別工場																																																																																											
水資源の有効利用と健全な水循環の推進	雨水の有効利用の推進	環境政策室																																																																																											
	下水の高度処理水などの再利用の推進	水再生室																																																																																											
産業廃棄物の適正処理	節水型社会の定着に向けた啓発活動	水道部総務室																																																																																											
	◆産業廃棄物適正処理についての指導・啓発 ◆使用済み自動車及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する事業者等の管理・指導	(仮) 環境保全指導課																																																																																											
施策の柱	施策	担当室課																																																																																											
ごみの発生抑制を優先する社会への転換	食品ロスの削減やプラスチックごみを含むごみの減量・再資源化に関する啓発活動や情報提供の充実化	環境政策室																																																																																											
	市民団体や事業者との連携・協働による学校や地域の環境教育・環境学習の充実化	環境政策室 指導室																																																																																											
	環境マネジメントシステムの普及や事業者向け啓発活動・情報提供活動の充実化	環境政策室 事業課																																																																																											
	「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」に基づくレジ袋削減に向けた PR 活動の実施	環境政策室																																																																																											
多くの市民が参加しやすいリサイクルシステムの構築	12 種分別の徹底、ごみの減量や再資源化を市民全体に浸透させるための仕組みづくりの推進	環境政策室 事業課 破碎選別工場																																																																																											
	資源ごみ分別収集やペットボトル・廃食用油の拠点回収の拡大など、リサイクル手段の拡充の推進	環境政策室 事業課 破碎選別工場																																																																																											
	再生資源集団回収やエコイベントなど、地域リサイクル活動の活性化	環境政策室 事業課																																																																																											
	再生品の使用拡大及び再生資源事業者との連携によるリサイクルシステムの安定化	環境政策室 破碎選別工場																																																																																											
	フードドライブの推進及びフードバンクとの連携	環境政策室																																																																																											
排出者責任の確立と事業系ごみの減量促進	廃棄物管理責任者等を通じた排出管理指導の強化及び事業者全体に排出者責任の意識の浸透	環境政策室 事業課																																																																																											
	事業系ごみに関する情報提供の充実、多量排出占有者への指導強化などによるリサイクルの促進	環境政策室 事業課																																																																																											
	燃焼ごみ以外の搬入禁止の周知徹底及び、古紙など資源回収ボックスの利用促進	資源循環エネルギーセンター																																																																																											
持続可能な低炭素社会実現に寄与する収集体制や処理システムの構築	リサイクルや適正処理などの推進に適した分別収集体制の確立	事業課																																																																																											
	施設の適切な維持管理と計画的な整備など、持続可能な低炭素社会実現に寄与する処理システムの構築	資源循環エネルギーセンター 破碎選別工場																																																																																											
水資源の有効利用と健全な水循環の推進	雨水の有効利用の推進	環境政策室																																																																																											
	下水処理水などの再利用の推進	水再生室																																																																																											
産業廃棄物の適正処理	節水型社会の定着に向けた啓発活動	水道部総務室																																																																																											
	◆産業廃棄物適正処理についての指導・啓発 ◆使用済み自動車及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する事業者などの管理・指導	(仮) 環境保全指導課																																																																																											

No.	変更前（旧）	変更後（新）	備考																																																																																																
17	<p>6 これまでの特徴的な取組 (3) 再生資源集団回収の推進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>H25(2013)年度</th> <th>H26(2014)年度</th> <th>H27(2015)年度</th> <th>H28(2016)年度</th> <th>H29(2017)年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施団体数(団体)</td> <td>460</td> <td>461</td> <td>460</td> <td>463</td> <td>455</td> </tr> <tr> <td>参加世帯数(世帯)</td> <td>79,474</td> <td>79,246</td> <td>75,248</td> <td>74,413</td> <td>72,920</td> </tr> <tr> <td>回収量(t)</td> <td>10,108</td> <td>9,713</td> <td>9,360</td> <td>8,877</td> <td>8,357</td> </tr> </tbody> </table>	品目	H25(2013)年度	H26(2014)年度	H27(2015)年度	H28(2016)年度	H29(2017)年度	実施団体数(団体)	460	461	460	463	455	参加世帯数(世帯)	79,474	79,246	75,248	74,413	72,920	回収量(t)	10,108	9,713	9,360	8,877	8,357	<p>6 これまでの特徴的な取組 (3) 再生資源集団回収の推進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>H26(2014)年度</th> <th>H27(2015)年度</th> <th>H28(2016)年度</th> <th>H29(2017)年度</th> <th>H30(2018)年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施団体数(団体)</td> <td>461</td> <td>460</td> <td>463</td> <td>455</td> <td>454</td> </tr> <tr> <td>参加世帯数(世帯)</td> <td>79,246</td> <td>75,248</td> <td>74,413</td> <td>72,920</td> <td>71,845</td> </tr> <tr> <td>回収量(t)</td> <td>9,713</td> <td>9,360</td> <td>8,877</td> <td>8,357</td> <td>8,112</td> </tr> </tbody> </table>	品目	H26(2014)年度	H27(2015)年度	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	実施団体数(団体)	461	460	463	455	454	参加世帯数(世帯)	79,246	75,248	74,413	72,920	71,845	回収量(t)	9,713	9,360	8,877	8,357	8,112	P33 (修正)																																																
品目	H25(2013)年度	H26(2014)年度	H27(2015)年度	H28(2016)年度	H29(2017)年度																																																																																														
実施団体数(団体)	460	461	460	463	455																																																																																														
参加世帯数(世帯)	79,474	79,246	75,248	74,413	72,920																																																																																														
回収量(t)	10,108	9,713	9,360	8,877	8,357																																																																																														
品目	H26(2014)年度	H27(2015)年度	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度																																																																																														
実施団体数(団体)	461	460	463	455	454																																																																																														
参加世帯数(世帯)	79,246	75,248	74,413	72,920	71,845																																																																																														
回収量(t)	9,713	9,360	8,877	8,357	8,112																																																																																														
18	<p>生活環境分野 2 指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">達成指標及び活動指標（○は代表指標）</th> <th>現況値 H30年度 (2018年度)</th> <th>目標値 R10年度 (2028年度)</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">達成指標</td> <td>○公害に関する苦情を解決した割合※2</td> <td>69.0%</td> <td>80%※1</td> <td>環境保全課</td> </tr> <tr> <td>○「環境美化推進団体※3」の団体数</td> <td>23 団体</td> <td>40 団体※1</td> <td>地域環境課</td> </tr> <tr> <td>環境目標値※4 達成率 (①二酸化窒素、②一般環境騒音、③河川BOD)</td> <td>① 100% ② 90% ③ 100%</td> <td>100%</td> <td>環境保全課</td> </tr> <tr> <td>快適な生活環境の確保に満足している市民の割合</td> <td>31.7%</td> <td>40%※1</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>熱帯夜日数※5（5年移動平均値）</td> <td>32 日</td> <td>29 日以下</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">活動指標</td> <td>居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）の満足度の割合</td> <td>21%</td> <td>30%</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>下水処理水の高度処理普及率</td> <td>63.8%</td> <td>100%</td> <td>下水道経営室</td> </tr> <tr> <td>環境美化推進重点地区※6 数</td> <td>9 地区</td> <td>15 地区</td> <td>地域環境課</td> </tr> <tr> <td>雨水浸透箇所※7 数累計</td> <td>311 箇所</td> <td>452 箇所</td> <td>水循環室</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透水性舗装※8 面積累計</td> <td>85,257 m²</td> <td>103,257 m²</td> <td>道路室 環境政策室</td> </tr> </tbody> </table>	達成指標及び活動指標（○は代表指標）		現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課	達成指標	○公害に関する苦情を解決した割合※2	69.0%	80%※1	環境保全課	○「環境美化推進団体※3」の団体数	23 団体	40 団体※1	地域環境課	環境目標値※4 達成率 (①二酸化窒素、②一般環境騒音、③河川BOD)	① 100% ② 90% ③ 100%	100%	環境保全課	快適な生活環境の確保に満足している市民の割合	31.7%	40%※1	環境政策室	熱帯夜日数※5（5年移動平均値）	32 日	29 日以下	環境政策室	活動指標	居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）の満足度の割合	21%	30%	環境政策室	下水処理水の高度処理普及率	63.8%	100%	下水道経営室	環境美化推進重点地区※6 数	9 地区	15 地区	地域環境課	雨水浸透箇所※7 数累計	311 箇所	452 箇所	水循環室		透水性舗装※8 面積累計	85,257 m ²	103,257 m ²	道路室 環境政策室	<p>生活環境分野 2 指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">達成指標及び活動指標（○は代表指標）</th> <th>現況値 H30年度 (2018年度)</th> <th>目標値 R10年度 (2028年度)</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">達成指標</td> <td>○公害に関する苦情を解決した割合※2</td> <td>69.0%</td> <td>80%※1</td> <td>環境保全課</td> </tr> <tr> <td>○「環境美化推進団体※3」の団体数</td> <td>23 団体</td> <td>40 団体※1</td> <td>地域環境課</td> </tr> <tr> <td>環境目標値※4 達成率 (①二酸化窒素、②一般環境騒音、③河川BOD)</td> <td>① 100% ② 90% ③ 100%</td> <td>100%</td> <td>環境保全課</td> </tr> <tr> <td>快適な生活環境の確保に満足している市民の割合</td> <td>31.7%</td> <td>40%※1</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>熱帯夜日数※5（5年移動平均値）</td> <td>32 日</td> <td>29 日以下</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">活動指標</td> <td>居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）に満足している市民の割合</td> <td>21%</td> <td>30%</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>下水処理水の高度処理普及率</td> <td>63.8%</td> <td>100%</td> <td>下水道経営室</td> </tr> <tr> <td>環境美化推進重点地区※6 数</td> <td>9 地区</td> <td>15 地区</td> <td>地域環境課</td> </tr> <tr> <td>雨水浸透箇所※7 数累計</td> <td>311 箇所</td> <td>452 箇所</td> <td>水循環室</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透水性舗装※8 面積累計</td> <td>85,257 m²</td> <td>103,257 m²</td> <td>道路室 環境政策室</td> </tr> </tbody> </table>	達成指標及び活動指標（○は代表指標）		現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課	達成指標	○公害に関する苦情を解決した割合※2	69.0%	80%※1	環境保全課	○「環境美化推進団体※3」の団体数	23 団体	40 団体※1	地域環境課	環境目標値※4 達成率 (①二酸化窒素、②一般環境騒音、③河川BOD)	① 100% ② 90% ③ 100%	100%	環境保全課	快適な生活環境の確保に満足している市民の割合	31.7%	40%※1	環境政策室	熱帯夜日数※5（5年移動平均値）	32 日	29 日以下	環境政策室	活動指標	居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）に満足している市民の割合	21%	30%	環境政策室	下水処理水の高度処理普及率	63.8%	100%	下水道経営室	環境美化推進重点地区※6 数	9 地区	15 地区	地域環境課	雨水浸透箇所※7 数累計	311 箇所	452 箇所	水循環室		透水性舗装※8 面積累計	85,257 m ²	103,257 m ²	道路室 環境政策室	P34 (修正)
達成指標及び活動指標（○は代表指標）		現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課																																																																																															
達成指標	○公害に関する苦情を解決した割合※2	69.0%	80%※1	環境保全課																																																																																															
	○「環境美化推進団体※3」の団体数	23 団体	40 団体※1	地域環境課																																																																																															
	環境目標値※4 達成率 (①二酸化窒素、②一般環境騒音、③河川BOD)	① 100% ② 90% ③ 100%	100%	環境保全課																																																																																															
	快適な生活環境の確保に満足している市民の割合	31.7%	40%※1	環境政策室																																																																																															
	熱帯夜日数※5（5年移動平均値）	32 日	29 日以下	環境政策室																																																																																															
活動指標	居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）の満足度の割合	21%	30%	環境政策室																																																																																															
	下水処理水の高度処理普及率	63.8%	100%	下水道経営室																																																																																															
	環境美化推進重点地区※6 数	9 地区	15 地区	地域環境課																																																																																															
	雨水浸透箇所※7 数累計	311 箇所	452 箇所	水循環室																																																																																															
	透水性舗装※8 面積累計	85,257 m ²	103,257 m ²	道路室 環境政策室																																																																																															
達成指標及び活動指標（○は代表指標）		現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課																																																																																															
達成指標	○公害に関する苦情を解決した割合※2	69.0%	80%※1	環境保全課																																																																																															
	○「環境美化推進団体※3」の団体数	23 団体	40 団体※1	地域環境課																																																																																															
	環境目標値※4 達成率 (①二酸化窒素、②一般環境騒音、③河川BOD)	① 100% ② 90% ③ 100%	100%	環境保全課																																																																																															
	快適な生活環境の確保に満足している市民の割合	31.7%	40%※1	環境政策室																																																																																															
	熱帯夜日数※5（5年移動平均値）	32 日	29 日以下	環境政策室																																																																																															
活動指標	居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）に満足している市民の割合	21%	30%	環境政策室																																																																																															
	下水処理水の高度処理普及率	63.8%	100%	下水道経営室																																																																																															
	環境美化推進重点地区※6 数	9 地区	15 地区	地域環境課																																																																																															
	雨水浸透箇所※7 数累計	311 箇所	452 箇所	水循環室																																																																																															
	透水性舗装※8 面積累計	85,257 m ²	103,257 m ²	道路室 環境政策室																																																																																															
19	<p>6 これまでの特徴的な取組 (2) ヒートランド対策 5 行目 【パンフレットを用いた大規模建築物・駐車場所有者への啓発】</p>	<p>6 これまでの特徴的な取組 (2) ヒートランド対策 5 行目 【大規模建築物・駐車場所有者への啓発】</p>	P37 (修正)																																																																																																

No.	変更前（旧）	変更後（新）	備考																																																																																								
20	みどり・自然共生分野 2 指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成指標及び活動指標(○は代表指標)</th> <th>現況値 H30年度 (2018年度)</th> <th>目標値 R10年度 (2028年度)</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○吹田市域の緑被率 ※1</td> <td>26.1 % H25年度 (2013年度)</td> <td>30 % ※2 (将来目標)</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>○「みどりの協定 ※4」に基づく取組などを行う団体数</td> <td>28 団体</td> <td>60 団体 ※3</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>○みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合</td> <td>62.1%</td> <td>67 % ※3</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>生物多様性の認知度（重要度）</td> <td>36.6%</td> <td>50%</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>緑あふれる未来サポーター制度（公園）の登録団体数</td> <td>96 団体</td> <td>120 団体</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>生物多様性保全イベント参加者数</td> <td>2,969 人</td> <td>3,400 人</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>市域面積に対する緑地面積 ※5の割合</td> <td>15.4 % H26年度 (2014年度)</td> <td>20 % ※2 (将来目標)</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>市民 1 人当たりに対する都市公園面積</td> <td>8.8 m²/人</td> <td>10 m²/人 ※2 (将来目標)</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>公園などの面積</td> <td>358.8 ha</td> <td>361.6 ha ※3</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>希少種の保全数（ヒメボタル、コバノミツバツツジ、ヤマサギソウ、イヌセンブリ）</td> <td>4 種</td> <td>4 種 ※2</td> <td>公園みどり室 道路室 水循環室</td> </tr> </tbody> </table>	達成指標及び活動指標(○は代表指標)	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課	○吹田市域の緑被率 ※1	26.1 % H25年度 (2013年度)	30 % ※2 (将来目標)	公園みどり室	○「みどりの協定 ※4」に基づく取組などを行う団体数	28 団体	60 団体 ※3	公園みどり室	○みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合	62.1%	67 % ※3	公園みどり室	生物多様性の認知度（重要度）	36.6%	50%	環境政策室	緑あふれる未来サポーター制度（公園）の登録団体数	96 団体	120 団体	公園みどり室	生物多様性保全イベント参加者数	2,969 人	3,400 人	環境政策室	市域面積に対する緑地面積 ※5の割合	15.4 % H26年度 (2014年度)	20 % ※2 (将来目標)	公園みどり室	市民 1 人当たりに対する都市公園面積	8.8 m ² /人	10 m ² /人 ※2 (将来目標)	公園みどり室	公園などの面積	358.8 ha	361.6 ha ※3	公園みどり室	希少種の保全数（ヒメボタル、コバノミツバツツジ、ヤマサギソウ、イヌセンブリ）	4 種	4 種 ※2	公園みどり室 道路室 水循環室	みどり・自然共生分野 2 指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成指標及び活動指標(○は代表指標)</th> <th>現況値 H30年度 (2018年度)</th> <th>目標値 R10年度 (2028年度)</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○吹田市域の緑被率※1</td> <td>26.1 % H25年度 (2013年度)</td> <td>30 % ※2 (将来目標)</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>○「みどりの協定※4」に基づく取組などを行う団体数</td> <td>28 団体</td> <td>60 団体※3</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>○みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合</td> <td>62.1 %</td> <td>67 % ※3</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合</td> <td>36.6 %</td> <td>50 %</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>緑あふれる未来サポーター制度（公園）の登録団体数</td> <td>96 団体</td> <td>120 団体</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>生物多様性保全イベント参加者数</td> <td>2,969 人</td> <td>3,400 人</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>市域面積に対する緑地面積※5の割合</td> <td>15.4 % H26年度 (2014年度)</td> <td>20 % ※2 (将来目標)</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>市民 1 人当たりに対する都市公園面積</td> <td>8.8 m²/人</td> <td>10 m²/人 ※2 (将来目標)</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>公園などの面積</td> <td>358.8 ha</td> <td>361.6 ha ※3</td> <td>公園みどり室</td> </tr> <tr> <td>希少種の保全数（ヒメボタル、コバノミツバツツジ、ヤマサギソウ、イヌセンブリ）</td> <td>4 種</td> <td>4 種 ※2</td> <td>公園みどり室 道路室 水循環室</td> </tr> </tbody> </table>	達成指標及び活動指標(○は代表指標)	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課	○吹田市域の緑被率※1	26.1 % H25年度 (2013年度)	30 % ※2 (将来目標)	公園みどり室	○「みどりの協定※4」に基づく取組などを行う団体数	28 団体	60 団体※3	公園みどり室	○みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合	62.1 %	67 % ※3	公園みどり室	生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合	36.6 %	50 %	環境政策室	緑あふれる未来サポーター制度（公園）の登録団体数	96 団体	120 団体	公園みどり室	生物多様性保全イベント参加者数	2,969 人	3,400 人	環境政策室	市域面積に対する緑地面積※5の割合	15.4 % H26年度 (2014年度)	20 % ※2 (将来目標)	公園みどり室	市民 1 人当たりに対する都市公園面積	8.8 m ² /人	10 m ² /人 ※2 (将来目標)	公園みどり室	公園などの面積	358.8 ha	361.6 ha ※3	公園みどり室	希少種の保全数（ヒメボタル、コバノミツバツツジ、ヤマサギソウ、イヌセンブリ）	4 種	4 種 ※2	公園みどり室 道路室 水循環室	P38 (修正)
達成指標及び活動指標(○は代表指標)	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課																																																																																								
○吹田市域の緑被率 ※1	26.1 % H25年度 (2013年度)	30 % ※2 (将来目標)	公園みどり室																																																																																								
○「みどりの協定 ※4」に基づく取組などを行う団体数	28 団体	60 団体 ※3	公園みどり室																																																																																								
○みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合	62.1%	67 % ※3	公園みどり室																																																																																								
生物多様性の認知度（重要度）	36.6%	50%	環境政策室																																																																																								
緑あふれる未来サポーター制度（公園）の登録団体数	96 団体	120 団体	公園みどり室																																																																																								
生物多様性保全イベント参加者数	2,969 人	3,400 人	環境政策室																																																																																								
市域面積に対する緑地面積 ※5の割合	15.4 % H26年度 (2014年度)	20 % ※2 (将来目標)	公園みどり室																																																																																								
市民 1 人当たりに対する都市公園面積	8.8 m ² /人	10 m ² /人 ※2 (将来目標)	公園みどり室																																																																																								
公園などの面積	358.8 ha	361.6 ha ※3	公園みどり室																																																																																								
希少種の保全数（ヒメボタル、コバノミツバツツジ、ヤマサギソウ、イヌセンブリ）	4 種	4 種 ※2	公園みどり室 道路室 水循環室																																																																																								
達成指標及び活動指標(○は代表指標)	現況値 H30年度 (2018年度)	目標値 R10年度 (2028年度)	担当室課																																																																																								
○吹田市域の緑被率※1	26.1 % H25年度 (2013年度)	30 % ※2 (将来目標)	公園みどり室																																																																																								
○「みどりの協定※4」に基づく取組などを行う団体数	28 団体	60 団体※3	公園みどり室																																																																																								
○みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合	62.1 %	67 % ※3	公園みどり室																																																																																								
生物多様性の保全を重要だと思う市民の割合	36.6 %	50 %	環境政策室																																																																																								
緑あふれる未来サポーター制度（公園）の登録団体数	96 団体	120 団体	公園みどり室																																																																																								
生物多様性保全イベント参加者数	2,969 人	3,400 人	環境政策室																																																																																								
市域面積に対する緑地面積※5の割合	15.4 % H26年度 (2014年度)	20 % ※2 (将来目標)	公園みどり室																																																																																								
市民 1 人当たりに対する都市公園面積	8.8 m ² /人	10 m ² /人 ※2 (将来目標)	公園みどり室																																																																																								
公園などの面積	358.8 ha	361.6 ha ※3	公園みどり室																																																																																								
希少種の保全数（ヒメボタル、コバノミツバツツジ、ヤマサギソウ、イヌセンブリ）	4 種	4 種 ※2	公園みどり室 道路室 水循環室																																																																																								
21	3 施策の柱と具体的施策 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の柱</th> <th>施策</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">生物多様性の保全</td> <td>★動植物の生息・生育分布状況等の把握</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>★特定外来生物の防除活動</td> <td>地域環境課 環境政策室</td> </tr> <tr> <td>★生物多様性保全への効果的なイベントの実施及び啓発活動</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>★自然体験・学習等の活動の推進</td> <td>自治体間交流を推進する室課 環境教育を推進する室課 環境政策室</td> </tr> </tbody> </table>	施策の柱	施策	担当室課	生物多様性の保全	★動植物の生息・生育分布状況等の把握	環境政策室	★特定外来生物の防除活動	地域環境課 環境政策室	★生物多様性保全への効果的なイベントの実施及び啓発活動	環境政策室	★自然体験・学習等の活動の推進	自治体間交流を推進する室課 環境教育を推進する室課 環境政策室	3 施策の柱と具体的施策 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策の柱</th> <th>施策</th> <th>担当室課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">生物多様性の保全</td> <td>動植物の生息・生育分布状況などの把握</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>特定外来生物の防除活動</td> <td>地域環境課 環境政策室</td> </tr> <tr> <td>生物多様性の保全への理解を深めるための効果的なイベントの実施及び啓発活動</td> <td>環境政策室</td> </tr> <tr> <td>自然体験・学習などの活動の推進</td> <td>自治体間交流を推進する室課 環境教育を推進する室課 環境政策室</td> </tr> </tbody> </table>	施策の柱	施策	担当室課	生物多様性の保全	動植物の生息・生育分布状況などの把握	環境政策室	特定外来生物の防除活動	地域環境課 環境政策室	生物多様性の保全への理解を深めるための効果的なイベントの実施及び啓発活動	環境政策室	自然体験・学習などの活動の推進	自治体間交流を推進する室課 環境教育を推進する室課 環境政策室	P39 (修正)																																																																
施策の柱	施策	担当室課																																																																																									
生物多様性の保全	★動植物の生息・生育分布状況等の把握	環境政策室																																																																																									
	★特定外来生物の防除活動	地域環境課 環境政策室																																																																																									
	★生物多様性保全への効果的なイベントの実施及び啓発活動	環境政策室																																																																																									
	★自然体験・学習等の活動の推進	自治体間交流を推進する室課 環境教育を推進する室課 環境政策室																																																																																									
施策の柱	施策	担当室課																																																																																									
生物多様性の保全	動植物の生息・生育分布状況などの把握	環境政策室																																																																																									
	特定外来生物の防除活動	地域環境課 環境政策室																																																																																									
	生物多様性の保全への理解を深めるための効果的なイベントの実施及び啓発活動	環境政策室																																																																																									
	自然体験・学習などの活動の推進	自治体間交流を推進する室課 環境教育を推進する室課 環境政策室																																																																																									
22	都市環境分野 2 指標 注釈の 4 行目 ※3 バリアフリー重点地区：公共交通機関、建築物、道路、都市公園などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進する地区	都市環境分野 2 指標 注釈の 4 行目 ※3 バリアフリー重点整備地区：公共交通機関、建築物、道路、都市公園などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進する地区	P42 (修正)																																																																																								

No.	変更前（旧）	変更後（新）	備考																																						
23	<p>第5章 SDGsの目標達成に向けた取組</p> <p>国際社会では、将来にわたって持続的な発展が可能な社会の実現に向けて、「持続可能な開発目標：SDGs（Sustainable Development Goals）」を共通の指標とした取組が広がっています。</p> <p>このSDGsでは、様々な社会的課題の解決に向けた17のゴール（目標）が掲げられており、経済・社会・環境の統合的な向上によりその解決を図っていくことが強調されており、取組の過程で、「誰一人取り残さない（no one will be left behind）」ことを誓っています。</p> <p>また、17のゴール（目標）の内、No.1、5、10、16の4つを除く13のゴール（目標）が本市の環境課題に関連しています。</p> <p>多くの国や自治体、企業などで取組が活発化しているSDGsですが、本市の環境課題に関連する各ゴール（目標）については、本計画を着実に取り組むことで、その達成が図られます。</p> <p>そこで、本章では、SDGsに掲げられている17のゴール（目標）とそれに付随する169のターゲット（達成目標）の一部をご紹介しますとともに、本計画で掲げる目標や目標達成に向けた個々の施策と17のゴール（目標）との関係性を明示します。</p> <p>また、本市が行う環境啓発イベント等においては、その環境取組とSDGsとの関係性を明示等することで、認知度の向上を図ります。</p> <div data-bbox="309 678 1008 1257" data-label="Diagram"> <p>吹田市第3次環境基本計画 重点戦略と分野別目標</p> <table border="1"> <tr> <td>重点戦略</td> <td>はぐくむ</td> <td>環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みづくりをはぐくむ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>まじめる</td> <td>良好な環境をまじめる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>そなえる</td> <td>気候変動による影響にそなえる</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">分野別目標</td> <td>エネルギー</td> <td>限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換</td> </tr> <tr> <td>資源循環</td> <td>資源を大切に作る社会システムへの形成</td> </tr> <tr> <td>生活環境</td> <td>健康で快適な暮らしを支える環境の保全</td> </tr> <tr> <td>自然環境</td> <td>自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成</td> </tr> <tr> <td>都市環境</td> <td>快適な都市環境の創造</td> </tr> </table> <p>「持続可能な開発目標：SDGs」 17の目標</p> </div> <p>吹田市第3次環境基本計画の推進により、持続可能な開発目標：SDGsの達成を図ります。</p>	重点戦略	はぐくむ	環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みづくりをはぐくむ		まじめる	良好な環境をまじめる		そなえる	気候変動による影響にそなえる	分野別目標	エネルギー	限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	資源循環	資源を大切に作る社会システムへの形成	生活環境	健康で快適な暮らしを支える環境の保全	自然環境	自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成	都市環境	快適な都市環境の創造	<p>第5章 SDGsの目標との関係性</p> <p>国際社会では、将来にわたって持続的な発展が可能な社会の実現に向けて、「持続可能な開発目標：SDGs（Sustainable Development Goals）」を共通の指標とした取組が広がっています。</p> <p>このSDGsでは、様々な社会的課題の解決に向けた17のゴール（目標）が掲げられており、経済・社会・環境の統合的な向上によりその解決を図っていくことが強調されており、取組の過程で、「誰一人取り残さない（no one will be left behind）」ことを誓っています。</p> <p>多くの国や自治体、企業などで取組が活発化しているSDGsですが、本市の環境課題に関連する各ゴール（目標）については、本計画を着実に取り組むことで、その達成が図られます。</p> <p>そこで、本章では、SDGsに掲げられている17のゴール（目標）とそれに付随する169のターゲット（達成目標）の一部をご紹介しますとともに、本計画で掲げる目標や目標達成に向けた個々の施策と17のゴール（目標）との関係性を明示します。</p> <p>また、本市が行う環境啓発イベントなどにおいては、その環境取組とSDGsとの関係性を明示することで、認知度の向上を図ります。</p> <div data-bbox="1137 606 1921 1257" data-label="Diagram"> <p>吹田市第3次環境基本計画 重点戦略と分野別目標</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">重点戦略</td> <td>はぐくむ</td> <td>環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みをはぐくむ</td> </tr> <tr> <td>まじめる</td> <td>良好な環境をまじめる</td> </tr> <tr> <td>そなえる</td> <td>気候変動による影響にそなえる</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">分野別目標</td> <td>エネルギー</td> <td>環境に配慮したエネルギーを活用する低炭素社会への転換</td> </tr> <tr> <td>資源循環</td> <td>資源を大切に作る社会システムへの形成</td> </tr> <tr> <td>生活環境</td> <td>健康で快適な暮らしを支える環境の保全</td> </tr> <tr> <td>自然環境</td> <td>自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成</td> </tr> <tr> <td>都市環境</td> <td>快適な都市環境の創造</td> </tr> </table> <p>「持続可能な開発目標：SDGs」 17の目標</p> </div> <p>吹田市第3次環境基本計画の推進が、持続可能な開発目標：SDGsの達成に寄与するものです。</p>	重点戦略	はぐくむ	環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みをはぐくむ	まじめる	良好な環境をまじめる	そなえる	気候変動による影響にそなえる	分野別目標	エネルギー	環境に配慮したエネルギーを活用する低炭素社会への転換	資源循環	資源を大切に作る社会システムへの形成	生活環境	健康で快適な暮らしを支える環境の保全	自然環境	自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成	都市環境	快適な都市環境の創造	<p>P46 (修正)</p>
重点戦略	はぐくむ	環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みづくりをはぐくむ																																							
	まじめる	良好な環境をまじめる																																							
	そなえる	気候変動による影響にそなえる																																							
分野別目標	エネルギー	限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換																																							
	資源循環	資源を大切に作る社会システムへの形成																																							
	生活環境	健康で快適な暮らしを支える環境の保全																																							
	自然環境	自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成																																							
	都市環境	快適な都市環境の創造																																							
重点戦略	はぐくむ	環境保全・創造の基盤となる人・組織・仕組みをはぐくむ																																							
	まじめる	良好な環境をまじめる																																							
	そなえる	気候変動による影響にそなえる																																							
分野別目標	エネルギー	環境に配慮したエネルギーを活用する低炭素社会への転換																																							
	資源循環	資源を大切に作る社会システムへの形成																																							
	生活環境	健康で快適な暮らしを支える環境の保全																																							
	自然環境	自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成																																							
	都市環境	快適な都市環境の創造																																							

No.	変更前（旧）	変更後（新）	備考																																																																																																								
24	<p>「吹田市第3次環境基本計画とSDGsの目標との対応」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>施策の柱</th> <th>SDGs 17の目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">環境計画 の 内容</td> <td rowspan="5">吹田市の目標 となる人・組織・住込みをば らなくむ</td> <td>持続可能なライフスタイルを実現する人材を“はぐくむ”</td> <td>1 貧困をなくす</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したビジネススタイルに取り組む事業者を“はぐくむ”</td> <td>2 公正な働き場をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境を中心とした多様な主体とのつながりを“はぐくむ”</td> <td>3 持続可能な都市づくり</td> </tr> <tr> <td>企業に求められる環境を“まもる”</td> <td>4 質の高い教育をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”</td> <td>5 気候変動による大気汚染の削減</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">環境計画 の 内容</td> <td rowspan="5">高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”</td> <td>気候変動による大気汚染の削減</td> <td>6 清潔な水と衛生環境をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>スマートシティ推進</td> <td>7 エネルギーをこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>8 働きがいのある人間らしい生活</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>9 産業とイノベーションの振興</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>10 人や国ごとの平等</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">環境計画 の 内容</td> <td rowspan="5">環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>11 住み続けられるまちづくりをこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>12 消費の持続可能性をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>13 気候変動に具体的な対策をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>14 海洋資源を持続可能な開発のためにこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>15 陸の豊かさを守ろう</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">環境計画 の 内容</td> <td rowspan="5">環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>16 公正で強靭な社会をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>17 パートナーシップをこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>18 環境と経済の両立</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>19 都市と地域づくり</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>20 持続可能な消費と生産</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	施策の柱	SDGs 17の目標	環境計画 の 内容	吹田市の目標 となる人・組織・住込みをば らなくむ	持続可能なライフスタイルを実現する人材を“はぐくむ”	1 貧困をなくす	環境に配慮したビジネススタイルに取り組む事業者を“はぐくむ”	2 公正な働き場をこぎとめよう	環境を中心とした多様な主体とのつながりを“はぐくむ”	3 持続可能な都市づくり	企業に求められる環境を“まもる”	4 質の高い教育をこぎとめよう	高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”	5 気候変動による大気汚染の削減	環境計画 の 内容	高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”	気候変動による大気汚染の削減	6 清潔な水と衛生環境をこぎとめよう	スマートシティ推進	7 エネルギーをこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	8 働きがいのある人間らしい生活	環境に配慮したライフスタイルの推進	9 産業とイノベーションの振興	環境に配慮したライフスタイルの推進	10 人や国ごとの平等	環境計画 の 内容	環境に配慮したライフスタイルの推進	環境に配慮したライフスタイルの推進	11 住み続けられるまちづくりをこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	12 消費の持続可能性をこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	13 気候変動に具体的な対策をこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	14 海洋資源を持続可能な開発のためにこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	15 陸の豊かさを守ろう	環境計画 の 内容	環境に配慮したライフスタイルの推進	環境に配慮したライフスタイルの推進	16 公正で強靭な社会をこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	17 パートナーシップをこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	18 環境と経済の両立	環境に配慮したライフスタイルの推進	19 都市と地域づくり	環境に配慮したライフスタイルの推進	20 持続可能な消費と生産	<p>「吹田市第3次環境基本計画とSDGsの目標との対応」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>施策の柱</th> <th>SDGs 17の目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">環境計画 の 内容</td> <td rowspan="5">吹田市の目標 となる人・組織・住込みをば らなくむ</td> <td>持続可能なライフスタイルを実現する人材を“はぐくむ”</td> <td>1 貧困をなくす</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したビジネススタイルに取り組む事業者を“はぐくむ”</td> <td>2 公正な働き場をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境を中心とした多様な主体とのつながりを“はぐくむ”</td> <td>3 持続可能な都市づくり</td> </tr> <tr> <td>企業に求められる環境を“まもる”</td> <td>4 質の高い教育をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”</td> <td>5 気候変動による大気汚染の削減</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">環境計画 の 内容</td> <td rowspan="5">高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”</td> <td>気候変動による大気汚染の削減</td> <td>6 清潔な水と衛生環境をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>スマートシティ推進</td> <td>7 エネルギーをこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>8 働きがいのある人間らしい生活</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>9 産業とイノベーションの振興</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>10 人や国ごとの平等</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">環境計画 の 内容</td> <td rowspan="5">環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>11 住み続けられるまちづくりをこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>12 消費の持続可能性をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>13 気候変動に具体的な対策をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>14 海洋資源を持続可能な開発のためにこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>15 陸の豊かさを守ろう</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">環境計画 の 内容</td> <td rowspan="5">環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>16 公正で強靭な社会をこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>17 パートナーシップをこぎとめよう</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>18 環境と経済の両立</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>19 都市と地域づくり</td> </tr> <tr> <td>環境に配慮したライフスタイルの推進</td> <td>20 持続可能な消費と生産</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	施策の柱	SDGs 17の目標	環境計画 の 内容	吹田市の目標 となる人・組織・住込みをば らなくむ	持続可能なライフスタイルを実現する人材を“はぐくむ”	1 貧困をなくす	環境に配慮したビジネススタイルに取り組む事業者を“はぐくむ”	2 公正な働き場をこぎとめよう	環境を中心とした多様な主体とのつながりを“はぐくむ”	3 持続可能な都市づくり	企業に求められる環境を“まもる”	4 質の高い教育をこぎとめよう	高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”	5 気候変動による大気汚染の削減	環境計画 の 内容	高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”	気候変動による大気汚染の削減	6 清潔な水と衛生環境をこぎとめよう	スマートシティ推進	7 エネルギーをこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	8 働きがいのある人間らしい生活	環境に配慮したライフスタイルの推進	9 産業とイノベーションの振興	環境に配慮したライフスタイルの推進	10 人や国ごとの平等	環境計画 の 内容	環境に配慮したライフスタイルの推進	環境に配慮したライフスタイルの推進	11 住み続けられるまちづくりをこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	12 消費の持続可能性をこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	13 気候変動に具体的な対策をこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	14 海洋資源を持続可能な開発のためにこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	15 陸の豊かさを守ろう	環境計画 の 内容	環境に配慮したライフスタイルの推進	環境に配慮したライフスタイルの推進	16 公正で強靭な社会をこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	17 パートナーシップをこぎとめよう	環境に配慮したライフスタイルの推進	18 環境と経済の両立	環境に配慮したライフスタイルの推進	19 都市と地域づくり	環境に配慮したライフスタイルの推進	20 持続可能な消費と生産	<p>P48-49 (変更)</p>
項目	目標	施策の柱	SDGs 17の目標																																																																																																								
環境計画 の 内容	吹田市の目標 となる人・組織・住込みをば らなくむ	持続可能なライフスタイルを実現する人材を“はぐくむ”	1 貧困をなくす																																																																																																								
		環境に配慮したビジネススタイルに取り組む事業者を“はぐくむ”	2 公正な働き場をこぎとめよう																																																																																																								
		環境を中心とした多様な主体とのつながりを“はぐくむ”	3 持続可能な都市づくり																																																																																																								
		企業に求められる環境を“まもる”	4 質の高い教育をこぎとめよう																																																																																																								
		高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”	5 気候変動による大気汚染の削減																																																																																																								
環境計画 の 内容	高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”	気候変動による大気汚染の削減	6 清潔な水と衛生環境をこぎとめよう																																																																																																								
		スマートシティ推進	7 エネルギーをこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	8 働きがいのある人間らしい生活																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	9 産業とイノベーションの振興																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	10 人や国ごとの平等																																																																																																								
環境計画 の 内容	環境に配慮したライフスタイルの推進	環境に配慮したライフスタイルの推進	11 住み続けられるまちづくりをこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	12 消費の持続可能性をこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	13 気候変動に具体的な対策をこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	14 海洋資源を持続可能な開発のためにこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	15 陸の豊かさを守ろう																																																																																																								
環境計画 の 内容	環境に配慮したライフスタイルの推進	環境に配慮したライフスタイルの推進	16 公正で強靭な社会をこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	17 パートナーシップをこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	18 環境と経済の両立																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	19 都市と地域づくり																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	20 持続可能な消費と生産																																																																																																								
項目	目標	施策の柱	SDGs 17の目標																																																																																																								
環境計画 の 内容	吹田市の目標 となる人・組織・住込みをば らなくむ	持続可能なライフスタイルを実現する人材を“はぐくむ”	1 貧困をなくす																																																																																																								
		環境に配慮したビジネススタイルに取り組む事業者を“はぐくむ”	2 公正な働き場をこぎとめよう																																																																																																								
		環境を中心とした多様な主体とのつながりを“はぐくむ”	3 持続可能な都市づくり																																																																																																								
		企業に求められる環境を“まもる”	4 質の高い教育をこぎとめよう																																																																																																								
		高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”	5 気候変動による大気汚染の削減																																																																																																								
環境計画 の 内容	高気圧気象に対する備わりの確保を“まもる”	気候変動による大気汚染の削減	6 清潔な水と衛生環境をこぎとめよう																																																																																																								
		スマートシティ推進	7 エネルギーをこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	8 働きがいのある人間らしい生活																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	9 産業とイノベーションの振興																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	10 人や国ごとの平等																																																																																																								
環境計画 の 内容	環境に配慮したライフスタイルの推進	環境に配慮したライフスタイルの推進	11 住み続けられるまちづくりをこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	12 消費の持続可能性をこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	13 気候変動に具体的な対策をこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	14 海洋資源を持続可能な開発のためにこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	15 陸の豊かさを守ろう																																																																																																								
環境計画 の 内容	環境に配慮したライフスタイルの推進	環境に配慮したライフスタイルの推進	16 公正で強靭な社会をこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	17 パートナーシップをこぎとめよう																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	18 環境と経済の両立																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	19 都市と地域づくり																																																																																																								
		環境に配慮したライフスタイルの推進	20 持続可能な消費と生産																																																																																																								
<p>※ 環境計画は、少なくとも環境に配慮するとして12のゴールを定めていますが、本計画はそれぞれ1617をプラスして、17のゴールとしています。</p>																																																																																																											

全体的に修正した項目

項目	
「等」 → 「など」	第4次総合計画に合わせてひらがなへ修正 但し、法律、協定、アンケート実施時の記載などの表記が、漢字の「等」である場合は、「等」を記載
「統合的な向上」 → 「統合的向上」	国の記載に合わせて変更
「枠組み」 → 「枠組」 「取り組み」 → 「取組」	送り仮名の修正